

CZ  
1113  
69-02

禁電子式複写

明治  
廿六年

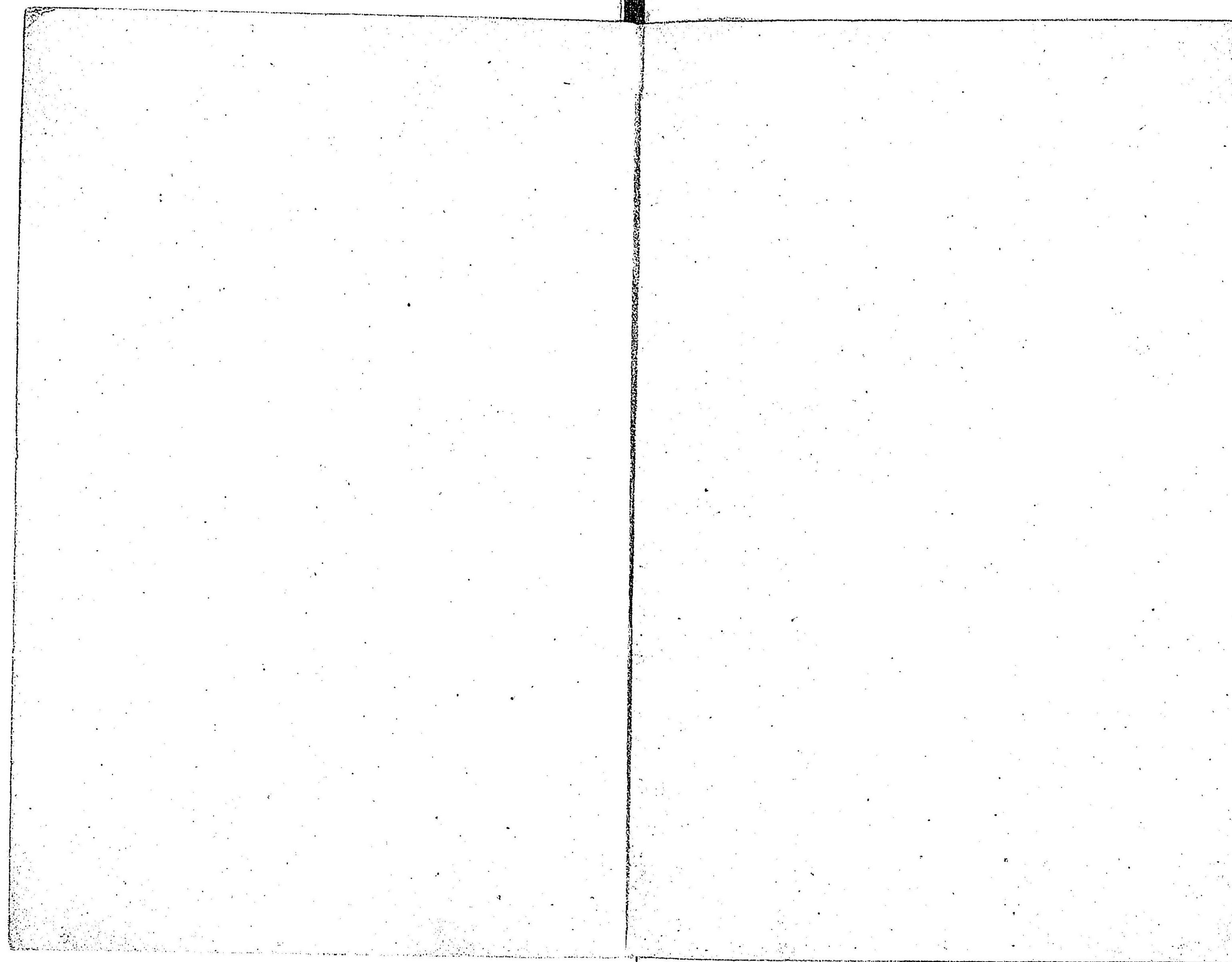
京都府府令達要約

第十四編

下卷

京都府内務部第一課編纂



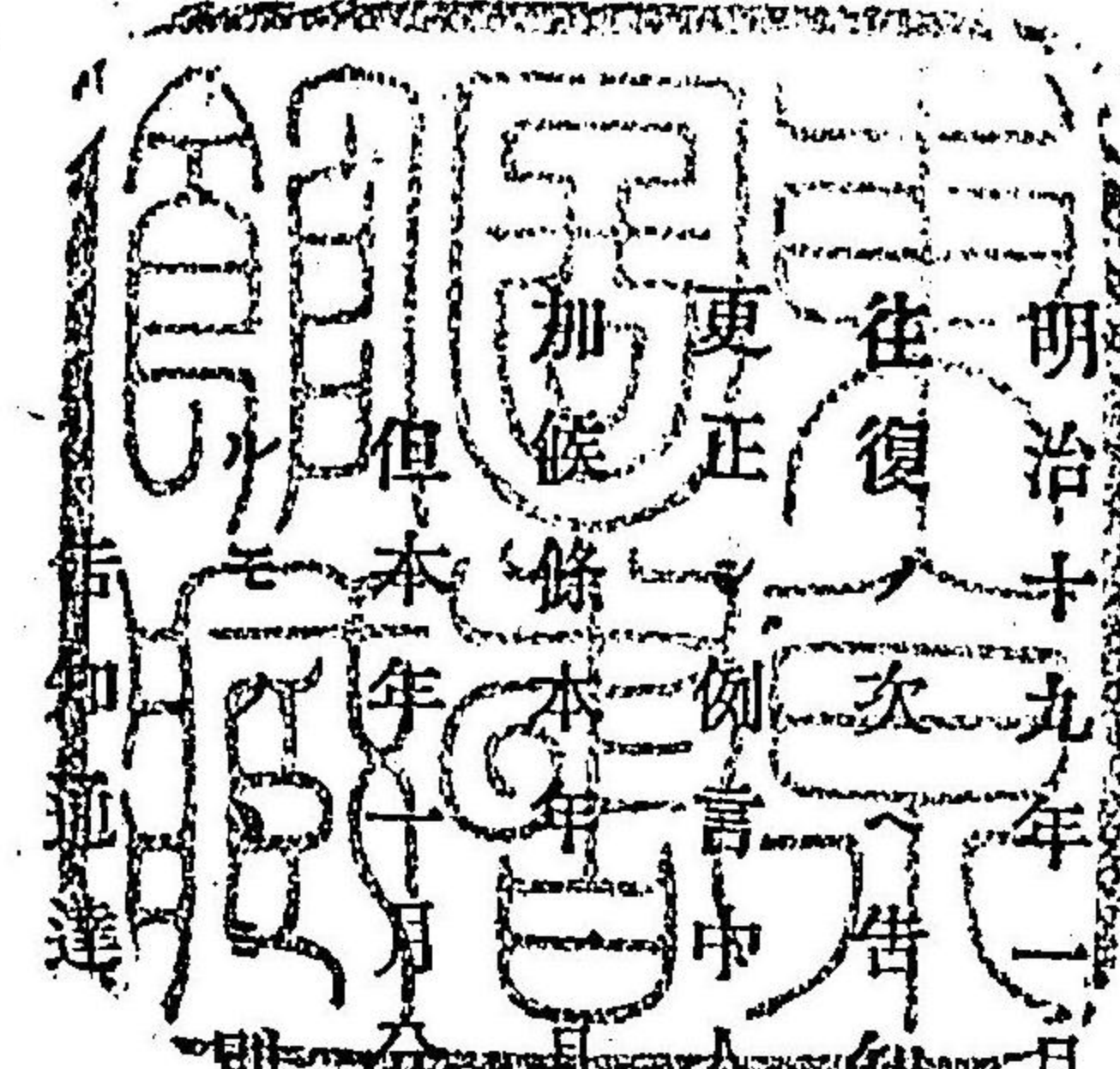




C2  
1113  
69-02

○明治六年 京都府府令達要約

甲 第一號 二月 郡町村



明治十九年一月乙第十八號達職務件數表中町村役場ノ分  
往復ノ一項ヲ追加シ人民願ヲ人民願届ト  
更正ノ例言中人民願届トシ左ノ一項ヲ追  
加候條本年一月分既ニ郡役所へ送付済之向ハ本文事項ニ係  
但本年一月分既ニ郡役所へ送付済之向ハ本文事項ニ係  
別ニ調出スヘシ

町村内ニ告知スルモノ及議員區長又ハ一己人ニ特ニ  
通達スルモノ但一號ヲ一件トス



右相達ス

甲 第二號 四月 郡町村市區 署

甲 第三號 七月 郡町村 署

甲 第四號 十一月 郡町村市區

入籍取扱ニ際シ送籍狀ニ既記誤謬等アルハ其儘返籍ス  
 ル向往々有之ノ處返籍ヲ受ケタル町村ニ於テハ多クハ本  
 人引拂ノ後ニシテ訂正方ニ差支且ツ此等往復ノ爲メ時日  
 ナ費シ容易ニ入籍ノ運ヒニ至ラサル等ノ事有之ハ人民  
 ノ迷惑ハ勿論相互ノ手數不勘義ニ付自今入籍ニ差支フル  
 事實アルモノ、外一旦入籍取計タル上訂正ノ手續ニ及フ  
 ヘシ

右相達ス

甲 第五號 三月 郡町村

明治十五年<sup>十月</sup>當府乙第四百四十八號備荒儲蓄施行規則取扱  
 心得中左ノ通改正ス

一 第一章第二條第二款中(一戸金拾圓ヲ目的ニ構造スヘシ)  
 トアルヲ(一戸金拾圓以内ニテ構造スヘシ)ト改ム

一 第二章第七條第一項中(十三年已上)(十三年未滿)トアルヲ  
 (十五年已上)(十五年未滿)ト改ム

一 同條第二項中(本項ハ宅地ノ外資産ナク)ノ下へ(又ハ宅地  
 ナ合テ地價金拾五圓未滿ヲ有シ)ノ十八字ヲ挿入シ(又)ノ  
 字ヲ刪ル

一 同條第三項并ニ末項ヲ左ノ通り改ム

本項ハ農ヲ以テ本業トシ宅地ノ外地價金拾圓未滿ヲ所



有スルモノ罹災ノ爲メ農具又ハ種穀ヲ失亡シ購求シ得サルモノニ限リ給與ス  
 但農具ハ其時ニ於テ必用ノ分種穀ハ播種季節ノ前ニ於テ失亡シ其時ニ於テ必用ナル分  
 右日數給額又ハ資産制限ノ外タリト雖モ事情不得已モ  
 ノニハ施行規則ノ範圍内ニ於テ右項目ニ準シ取調ヲナスヘシ

右相達ス

甲 第六號 廿八月 郡町村市區

明治廿四年甲第十三號達廢止ス

右相達ス

(參照)

廿四年甲第十三號  
 地方稅ヲ上納スル時ハ納証ニ仕譯書ヲ添付スルノ件

甲 第七號 廿六月 郡市區 畧

甲 第八號 廿四月 郡町村

所得金高届記載方ニ付別紙之通管内へ告諭候條各納稅者  
 注意方行届候様取扱フヘシ

右相達ス

明治廿年<sup>月五</sup>大藏省令第八號所得稅法施行細則中所得金高届書式之儀ハ只其大要ヲ示サレタルモノナルカ故ニ右納稅者ニ於テハ之レニ準シ所得ノ種目ヲ區分シ明瞭ニ届出ツヘキ筈ノ處往々其種類ヲ混記シ調査ノ際爲メニ召喚推問ヲ要スル等相互ノ手數掛ナカラス候條爾來成ヘク詳細



ニ區分スヘキハ勿論土地ノ所得ニ在ツテハ其扣除金中地  
租ハ特ニ別項ニ記載スヘキ儀ト心得ヘシ  
右告諭ス

六

甲第九號十四日郡町村市區

陸海軍徵兵身長別表之通被定候條去ル明治二十三年二月  
甲第十二號達ハ消滅ニ屬スル義ト心得ヘシ  
右相達ス

陸		區分	陸海軍徵兵身長表
騎	步	兵種	身長
兵	兵		五尺二寸以上
			五尺二寸以上

海軍			軍				
木工、鍛冶、厨夫	看病夫	水兵、火夫	職工	輜重輸卒	輜重兵	工兵	野戰砲兵
五尺二寸以上	五尺三寸以上	五尺三寸以上	五尺以上	五尺二寸以上	五尺二寸以上	五尺四寸以上	五尺四寸以上

備考

一壯丁若シ不足スルトキハ定寸以下遞次繰下ケ之ヲ  
補足ス

七



二六週間現役兵ハ歩兵ノ身長ニ同シ

八

甲第十號<sup>廿四日</sup>郡町村市區

徵兵事務條例第五十一條新兵入營前事故ニ由リ豫備徵員  
ヲ徵集スルニ當テハ十二月三十一日迄ニ入營セシムルハ  
勿論ニ候ヘ<sup>レ</sup>取扱上不得止場合ニ在テハ翌月十日迄ニ入  
營セシムルヲ得ル義ト心得ヘ<sup>ジ</sup>  
右相達ス

甲第十一號<sup>廿五日</sup>郡町村市區 畧

甲第十二號<sup>廿七日</sup>郡町村市區

國稅ニ關スル事務ノ整理ハ常ニ明瞭正確ヲ期スベキハ勿  
論就中直接國稅ノ如キハ僅少ノ額ト雖モ各人ノ權利上大  
ヒナル關係ヲ有スル義モ有之ニ付一層注意ヲ要スベキノ

處往々整理寛慢ニ流<sup>レ</sup>中ニハ徵稅ノ基礎確實ナラズシテ  
徵稅令書ト一人別徵稅元帳ノ合計符合セサル向モ有之哉  
ニ相聞ヘ加之其筋ヨリ訓令ノ次第モ有之今般町村役場區  
役所等國稅ニ關スル事務監理規程ヲ定メ隨時所管直間稅  
署員ヲシテ調査セシメ候條左ノ諸帳簿地圖等常ニ整理ノ  
完全ヲ期スベシ而シテ毎年十二月末日ノ現在ニ依リ土地  
臺帳及名寄帳ハ地目限リ其反別地價地租ノ合計ヲ諸營業  
稅臺帳及船車稅臺帳ハ別表様式ニヨリ申報表ヲ製シ各翌  
年一月二十日限リ所管直間稅分署ヘ差出スベシ

土地臺帳<sup>(共有地連名簿及土地  
異動通知書ノ類共)</sup>

土地所有者名寄帳

諸營業稅臺帳

九



船車稅臺帳

國稅徵收ニ關スル諸帳簿(徵稅令書及徵稅傳令)

町村地圖

右相達ス

明治廿一年十二月末日 諸營業稅及船車稅臺帳稅額員數申報書

項	目	員數	稅率	稅額	噸	目	員數	稅率	稅額
煙草	稅				同ナシ			0.5000	
製造營業					小計				
仲買營業					卸賣營業				
小賣營業					小賣營業				
計					計				
菓子稅					賣藥稅				

製造營業	雇人何人以上	同何人	西洋形風帆船噸數	日本形風帆船噸數	日本形小船	三間	四間以上	五間以上	何間以上	小計
免營業	方人員	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數
1.000	百噸ニ付	七.五〇〇	馬車稅	二匹立以上	一匹立	荷積	小計	人力車稅	牛車稅	荷車稅



船車稅臺帳  
 國稅徵收ニ關スル諸帳簿(徵稅令書及納證綴ノ稅傳令)  
 町村地圖  
 右相達ス

明治廿年 十二月末日		諸營業稅及船車稅臺帳稅額員數申報書			
項	目	員數	稅率	稅額	頃
煙草稅	製造營業		七五〇		同ナシ
	仲買營業		七五〇		小計
	小賣營業		二五〇〇		卸賣營業 內譯製造營業ニ同シ
計					小賣營業 全上
菓子稅					計
賣藥稅					

製造營業	雇人何人以上	同何人	西洋帆船噸數	風帆船噸數	日本形石艘數	日本形小船	三間	四間以上	五間以上	何間以上	小計
營業方員數	...	...	同 五、〇〇〇	同 百石ニ付 一、〇〇〇	...	...	〇、一五〇	〇、三三〇	〇、三〇〇	...	...
船稅	蒸氣船噸數	馬車稅	二匹以上	一匹立	積	小計	人力車稅	牛車稅	荷車稅	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...



遊	船	内譯日本形小船ニ同シ	計	
	計			
車	稅		牛馬賣買免許稅	
			免許人員數	〇五〇

右申報候也

明治何年一月 日

何郡市區町村長 氏

名印

京都府知事宛

甲第十三號 五月廿三日 郡町村市區

鑛業出願人ヨリ願書ノ寫及届書ヲ受理シタルキハ直チニ  
 試掘願書採掘願書又ハ修正圖面ニ記載シタル出願地ノ郡  
 市町村大字小字名ヲ土地臺帳若クハ其他ノ公簿ニ照シ其  
 異同ヲ調査シ廿五年六月三日當廳甲第三十二號達調査ト

同時ニ意見ヲ當廳ニ具申スヘシ  
 右相達ス

甲第十四號 六月 日 郡町村市區

從來北海道へ渡住ノ移民ト稱スルモノ、狀況ヲ觀察スル  
 ニ概チ開墾事業ヲ以テ一家ヲ經營スルノ目的方法確立セ  
 ス漫ニ空望ヲ懷テ渡道スル者多キカ故ニ他日實況ノ豫想  
 ト大ニ齟齬スル所アルヲ發見スルモ奈何トモ爲シ難ク僅  
 カニ勞役ヲ以テ糊口セサルヲ得サルカ如キ悲惨ノ境遇ニ  
 陥リ甚シキハ百計盡キテ空シク歸國シタルノ實例モ不少  
 趣ニ就テハ今後當管内人民ニシテ開墾農牧ヲ企圖シ北海  
 道へ移住セント欲スル者アルキハ別冊同道土地拂下規則  
 施行手續ヲ參考シ郡ハ町村長市ハ區長ニ於テ本人ノ性行



業務等ヨリ事業ノ目的移住地ノ所在貸下出願スヘキ地積  
 資産ノ有無多少勞力ニ耐ヘ得ルヤ否等ニ至ル迄篤ト調査  
 ナ遂ケ其誠實ト認定スヘキ者ニ限リ郡ハ郡長市ハ區長ヨ  
 リ直チニ其要領ヲ豫メ當廳ヘ申出其指揮ヲ得テ本人ニ決  
 心セシメ候様取計ヘシ  
 右相達ス

表紙

改正  
 北海道土地拂下規則施行手續

目次

廳令第五號	二十六年三月	北海道土地拂下規則施行手續改定ノ件
廳令第六號	二十六年三月	告示第二十四號中當廳地理課小樽外六 派出所ヲ廢シ右管轄區域内土地ニ關ス ル願届ノ件
告示第十九號	二十六年三月	土地拂下規則施行手續ニ依リ本年中貸 下クヘキ區畫地ノ件
告示第二十號	二十六年三月	土地拂下規則施行手續ニ依リ土地區域 ノ件
告示第二十一號	二十六年三月	當廳甲第八號布達土地拂下規則施行手 續ニ依リ貸下出願中未タ踏檢ヲ受ケザ ル者調査上ノ件



訓第九十一號 二十六年三月 北海道土地拂下規則施行手續取扱順序ノ件

正改 北海道土地拂下規則施行手續

○北海道廳令第五號

明治十九年八月當廳甲第八號布達北海道土地拂下規則施行手續左之通改定明治二十六年四月一日ヨリ施行ス

明治二十六年三月二十四日

北海道廳長官 北垣國道

北海道土地拂下規則施行手續

第一條 規則第三條ニ依リ貸下クヘキ土地ハ當廳ニ於テ區畫ヲ施設シ毎年公告スヘシ  
前項區畫外ノ土地ト雖モ豫メ區域ヲ指定シテ貸下クル

コトアルヘシ

第二條 左ニ列記スル土地ハ前條ニ拘ハラス特ニ貸下テ

許可スルコトアルヘシ

- 一 宅地
- 二 海産乾場
- 三 牧場
- 四 沿海ノ土地
- 五 従前貸下ヲ受ケタル土地成功ノ上其地ニ接近シテ

要スヘキ増地

第三條 土地貸下ヲ受ントスルモノハ願書書式第一號ニ起業方法書書式第二號圖面書式第三號但區畫地ニ關及戶籍寫原籍市町ハ區戸長ノ証ヲ添付シ地元戸長役場ヲ經テ當廳ニ差出ス



第四條 規則第四條ニ依リ貸下期限ノ標準ヲ定ムル左ノ

如シ  
耕地

拾萬坪以下 十年以内

六萬坪以下 八年以内

三萬坪以下 六年以内

六千坪以下 四年以内

宅地 三年以内

海産乾場 三年以内

牧場 十年以内

第五條 起業方法書ニハ左ノ事項ヲ明確ニ記載スヘシ

一 願地ノ素地名稱坪數其所在國町郡區番地又ハ字

二 樹木ノ有無其樹木アルトキハ全地ノ樹種目通周尺樹數  
但十坪平均ノ樹數ニ依リ全數ヲ算出スルモ妨ケ

三 事業ノ目的  
ナシ

四 貸下ノ期限  
五 貸下期限内毎年成功スヘキ配當坪數(耕宅地ニ限ル)

六 風除風致放牧薪炭用等ノ爲メ樹木存置ヲ要スルモノアルキハ其坪數此坪數ハ出願總地積ノ十分一以内ヲ目的トスヘシ

七 建物ヲ造築スルモノハ其落成期限

八 漁具若クハ海藻採收具ノ種類員數及實地營業着手



ノ期限(海産干場ニ限ル)  
九 牧場柵圍間敷及事業ニ要スル建物造築落成期限(牧場ニ限ル)

十 牧草畑地坪敷及播種ノ期限(全上)

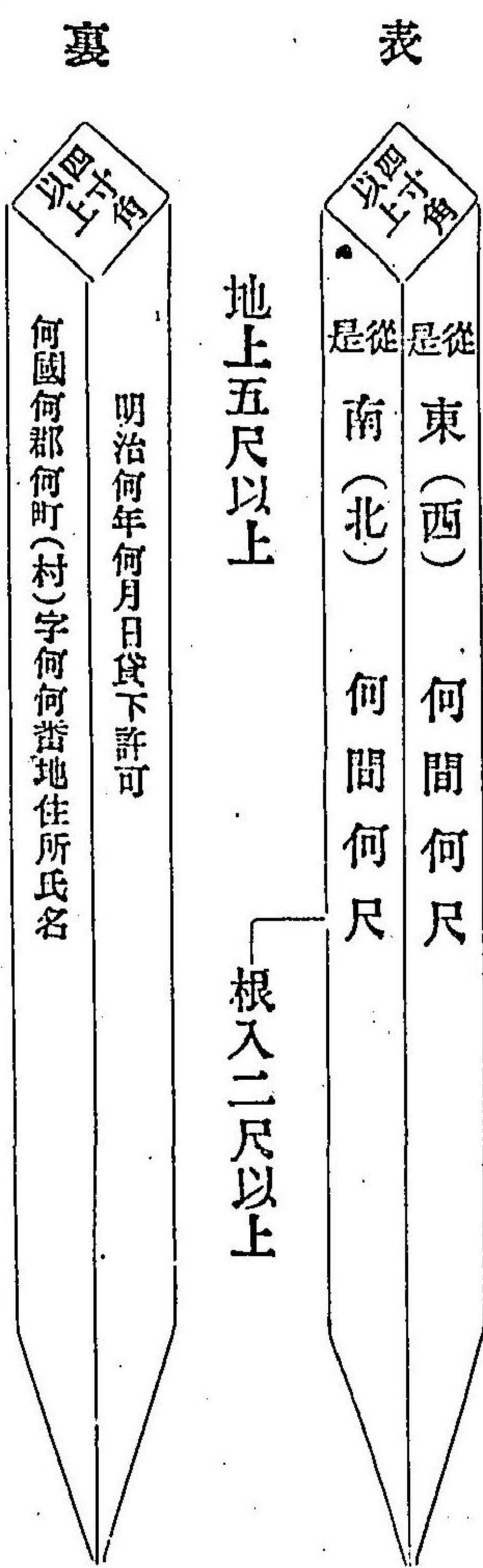
十一 牧畜ノ種類牝牡頭數及毎年蕃殖ノ豫算(全上)

第六條 土地貸下出願人ハ其地調査ノ爲メ吏員出張ノ通知ヲ受ケタルトキハ其地境界ニ假標ヲ建設シ現場ニ出頭シテ吏員ノ指揮ニ從フヘシ但第一條一項區畫地ニハ本條ヲ適用セス

第七條 土地貸下出願人ハ許可書受領ノ日ヨリ三十日以内更ニ貸下地ノ境界ニ標木ニ雜形ニ建設スヘシ但積雪ノ爲メ標木ヲ建設スルコト能ハサルトキハ消

雪後速ニ之ヲ建設スヘシ

標木雜形



第八條 土地貸下ノ期限ハ許可シタル翌年一月ヨリ起算スルモノトス

但許可ヲ受ケタルトキヨリ事業ニ着手スルコトヲ得  
第九條 土地ノ貸下ヲ得タル者ハ貸下期限中毎年事業ノ



功程ヲ記載シ四書式第其翌年一月三十一日限り地元戸長  
役場ヲ經テ當廳ニ届出ヘシ

第十條 規則第五條ニ依リ點檢スヘキ期日ノ通知ヲ受ケ  
タル者ハ成功區域ニ標杭ヲ建設シ現場ニ立會スヘシ

第十一條 貸下満期ニ至リ全地成功シタル者ハ土地拂下  
願書五書式第ニ圖面六書式第ヲ添付シ地元戸長役場郡區役  
所ヲ經テ當廳ニ差出スヘシ

貸下期限中ト雖モ全地成功シタルトキハ本人ノ願ニ依  
リ拂下クルコトアルヘシ

第十二條 規則第六條一項前段ノ場合ニ於テ主タル事業  
ヲ成功セスシテ之ニ附隨スル通路堤塘濠渠欄柵屋廡  
等ノミヲ設營シタルモノアルトキハ其敷地ハ未成功ト

シテ之ヲ處分ス

第十三條 規則第六條一項ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ  
命令書受領ノ日ヨリ七日以内ニ其受書ヲ地元戸長役場  
ヲ經テ當廳ニ差出スヘシ

第十四條 規則第六條一項ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ  
命令書受領ノ日ヨリ三十日以内ニ施設ノ物件ヲ取除キ  
其土地ヲ返納スヘシ

但返納地ニ係ル勞費アルモ當廳ハ之ヲ辨償セス  
前項期限内ニ施設ノ物件ヲ取除カサルトキハ當廳ニ於  
テ之ヲ取除キ其費用ヲ返地人ヨリ辨償セシムルコトアル  
ルヘシ

第十五條 規則第六條一項ニ依リ返地ヲ命シタルトキ已



ニ成功シタル耕宅地ハ第十一條ニ準シ拂下ヲ出願スヘシ

第十六條 規則第七條ニ依リ伐木代價ヲ徵收スルニハ起業方法書ニ記載シタル種類周尺樹數ニ照ラシ別ニ定ムル所ノ官林木特賣價額表ノ價額ニ依ル

第十七條 規則第八條ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ命令書受領ノ日ヨリ三十日以内ニ施設ノ物件ヲ取除キ費用調書ヲ差出シ其土地ヲ返納スヘシ

第十八條 規則第九條ニ依リ不得止事故アリテ貸下地ヲ讓渡サントスルトキハ第三條ニ準シ出願スヘシ  
但既ニ成功シタル部分ハ其成績ヲ詳記シ且成功未成功地ノ區別ヲ圖面ニ朱記スヘシ

第十九條 土地貸下ヲ出願中ノ者若クハ土地貸下ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ地元戸長役場部内ニ居住セサルトキハ其部内ノ居住者ヲ以テ代人ニ定メ地元戸長役場ヘ届出ヘシ居住者不在ノトキ亦同シ

第二十條 規則第二條但書ニ依リ土地貸下ヲ願出ルキハ第三條規定ノ外起業設計書ヲ添付スヘシ

但實測圖及ヒ財産調書ヲ徵スルコトアルヘシ

第廿一條 左ノ事項ニ該當スルモノアルトキハ其願書ヲ無効トス

- 一 第六條ノ規定ニ從ハサルモノ
- 二 土地貸下ヲ許可スルニ際シ本人若クハ代人ノ所在不詳ニシテ六十日ヲ過クルモ尙指令書ヲ下附スル



ニ由ナキトキ

第廿二條 左ノ事項ニ該當スルモノアルトキハ返地ノ處  
分ヲ結了シタルモノトス

- 一 第十三條ノ期限内ニ受書ヲ差出サ、ルモノ
- 二 本人若クハ代人所在不詳ニシテ六十日ヲ過クルモ  
尙返地命令書ヲ下附スルニ由ナキトキ

附 則

第廿三條 従前ノ手續ニ依リ土地貸下期限内ノモノハ總  
テ此手續ノ規定ニ従フヘシ

第廿四條 本年三月三十一日以前ニ貸下ヲ出願シタル土  
地ハ本手續第一條ニ依ルノ限ニアラス  
書式第一號 (用紙半紙)

土地貸下願

何國何郡何町(村)字何々番地

一 原野地何々ハ 何坪 田(畑)(宅地)何々ハ 見込

(他ニ土地貸下ノ許可ヲ得タルモノ又ハ土地貸下出願  
中ノ者ハ左ノ事項ヲ附記スヘシ)

外

何國何郡何町(村)字何々番地ニ於テ明治何年何月何日土  
地貸下許可ノ分

何坪 田(畑)(宅地)何々ハ

内

何坪 明治何年何月迄成功

何坪 未 成 功



何國何郡何町(村)字何々番地ニ於テ明治何年何月何日土地貸下出願中ノ分

何坪 田(畑)(宅地)何々ハ

右北海道土地拂下規則並全施行手續ヲ遵守シ別紙起業方法書之通り無相違成功可致候間該地積御貸下相成度此段奉願候也

何府(縣)(北海道)何國何郡(區)何市(町)(村)

字何々番地戸主(某何男)職業

「當時何國何郡(區)何市(町)(村)字何々番地

(某方)寄附」

明治何年何月何日

氏

名印

北海道廳長官宛

前書之通出願候ニ付進達候也

明治何年何月何日

區戸長 氏

名印

書式第二號 (用紙半紙)

起業方法書

一原野地何々ハ 何坪別紙圖面ノ個所

一何國何郡何町(村)字何々番地

一全地ニ目通何尺廻何木何本(樹木無之)

一田(畑)(宅地)(海産乾場)(牧場)何々ハ見込

一農(工)(商)(何漁)業若シクハ何製造(牧畜)(養蠶)何々ハ經營並ニ其

着手順序ノ詳細

一明治何年ヨリ何年迄何年間御貸下同年限内ニ全地成功

其毎年事業ノ配當ハ左ノ如シ



初年 (明治何年)

何坪田(畑)又ハニ開墾

但普通農具何々又ハ西洋農具何々(馬何頭)ヲ用ヒ家族

何人勞働若クハ小作人何戸又ハ耕夫何人(此金何程)ヲ

以テ田(畑)又ハ何々ニ墾成牛(馬)(羊)(豚) 牝何頭 飼育

(新=購入スルモノハ其種) 小屋掛(居小屋)(牧舎)又ハ何棟何

坪造築(此費用金何程)

道路延長 尺何 何間新開(同上)

二年目 (明治何年)

何坪田(畑)又ハニ開墾(何牧草播種)

但(初年ノ例ニ準シ詳記スヘシ)

牛(馬)(羊)(豚) 牝何頭 飼育 (新=購入ノモノト蕃殖ノモノトヲ區別シ)

排水延長 尺何 何間新開(此費用金何程)

堤塘延長 馬高何尺 踏何尺 何間新設(同上)

三年目 (明治何年)

何坪田(畑)又ハニ開墾

但(初年ノ例ニ準シ詳記スヘシ)

養蠶室(何製造場)又ハ何棟何坪造築(此費用金何程)

牧柵延長 丸何寸 高何尺 何間新設(同上)

四年目 (明治何年)

以後各年ノ分ハ前例ニ準シ詳記

スヘシ

一 風防(薪炭用地等)トシテ存置スヘキ木立地何坪樹木何々

尺目通何 何本(立木無之ニ付何年目(明治何年)ニ於テ何木何

本植付ノ見込)

一 鮭鱒網建網引網差網何統何船何艘明治何年何月迄ニ準

備

但明治何年何月何日何漁業若クハ何海藻採收營業



許可又ハ出願ニ付明治何年何月ヨリ漁業ニ着手ノ見込

一何年目(明治何年)ヨリ牛馬羊豚何種牝何頭蕃殖毎年何々何頭販賣何々何頭宛飼育ノ見込  
右之通相違無之候也

右願人

明治何年何月何日

氏

名印



書式第三號

何國何郡何町(村)字番地

一原野地<sup>又ハ</sup>何坪

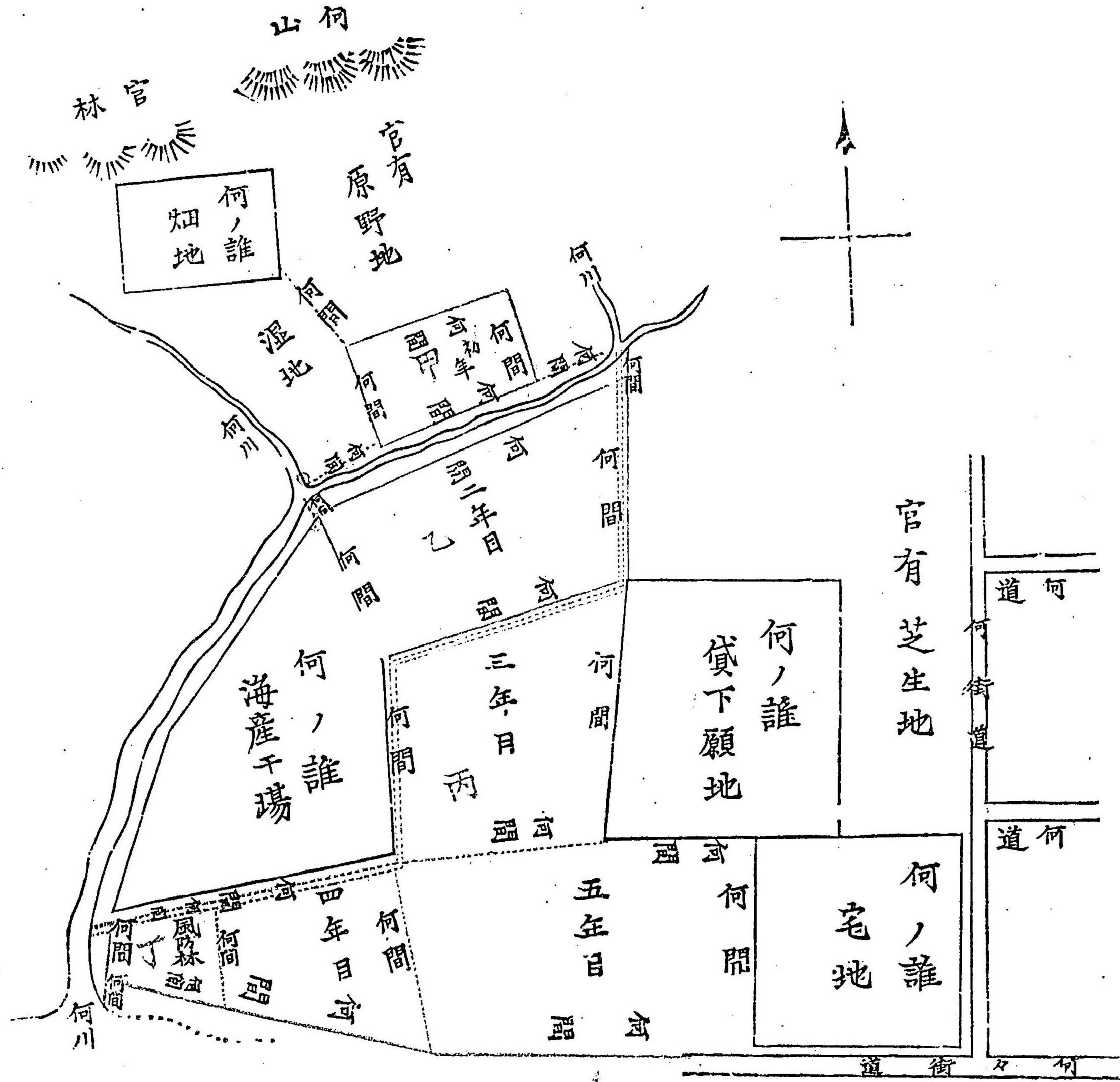
此譯

甲 何坪  
乙 何坪  
丙 何坪  
丁 何坪

願人

氏

名印



備考

基點 道路河川ノ辻若クハ近接貸下地等ノ隅角(若シ之レナキトキハ)ノ如キ移動ナキ個所ニ「印」ヲ以テ基點ヲ明カニスヘシ

繫線 前項基點ノ例ニ依リ一筆毎ニ二個所以上ヲ實測シ朱點ヲ施シ其間數ヲ記入スヘシ

間數 地域ニ從ヒ周圍ニ間數ヲ明記スヘシ

區畫 數年ニ配當シ開墾スルモノハ其區域ニ朱線ヲ引クヘシ風防薪炭用地區域モ亦全シ

除地 道路河川及溝渠ヲ挾ムトキハ各筆(例ハ甲)ニスヘシ

敷地 新ニ道路及用惡水路ヲ設ルモノハ其個所ニ二條ノ朱點ヲ施スヘシ  
右ノ外四至ノ景況ヲ詳記スヘシ



書式第四號 (用紙半紙)

事業成功程度御届

明治何年何月何日貸下許可

何國何郡何町(村)字何々番地

貸下總地積

一田(畑)(宅地) 何々ハ 何 坪 初年成功地積

外家屋(居小屋) 何々ハ 何棟何坪造築濟

(二年目以後ハ左ノ如ク内譯ヲ付シ其總計ヲ本項ニ記  
入スヘシ)

内

何 坪 初年成功

又ハ



自初年 成功  
至何年目

外家屋(居小屋)又々ハ何棟何坪造築濟

何 坪 何年目成功出ル年ノ前年  
中成功シタル分

外牧舎(何製造場)又々ハ何棟何坪造築

右成功ノ實況御届仕候也

何府(縣)(北海道)何國何郡(區)何市(町)(村)

字何々番地戶主(某何男)職業

〔當時何國何郡(區)何町(村)字何々番地

(某方)寄留〕

明治何年何月何日

氏

名印

北海道廳長官宛

右届出候ニ付進達候也

明治何年何月何日

區戶長 氏

名印

書式第五號 (用紙半紙)

貸下土地拂下願

何國何郡何町(村)字何々番地別紙圖面ノ箇所

元貸下地何坪

一田(畑)(宅地)又々ハ 何町何反何畝何步

但明治何年何月何日貸下許可(他ヨリ讓受又ハ相續者等  
名義書換ヲ爲スモノハ下

文ノ如ク付)何町(村)字何々番地何某ヨリ讓受又ハ相續名

義書換

右ハ北海道土地拂下規則ニ依リ御貸下ノ處今回全地墾成

事又ハ何々候ニ付地代金上納可致候間御拂下相成度別紙圖

面相添此段奉願候也



何府(縣)(北海道)何國何郡(區)何市(町)(村)

字何々番地戸主(某何男)職業

〔當時何國何郡(區)何市(町)(村)字何々番地

(某方)寄留〕

明治何年何月何日

氏

名印

北海道廳長官宛

前書之通願出候ニ付進達候也

明治何年何月何日

區戸長

氏

名印



書式第六號

何國何郡何町(村)字番地

元貸下地 何坪 (本項朱書)

一段別 何反何畝何步 拂下願地

内

願人

氏

名印

甲 畑 段別何反何畝何步  
 (イ) 何拾何坪何合何夕  
 此二除何拾何坪何合何夕

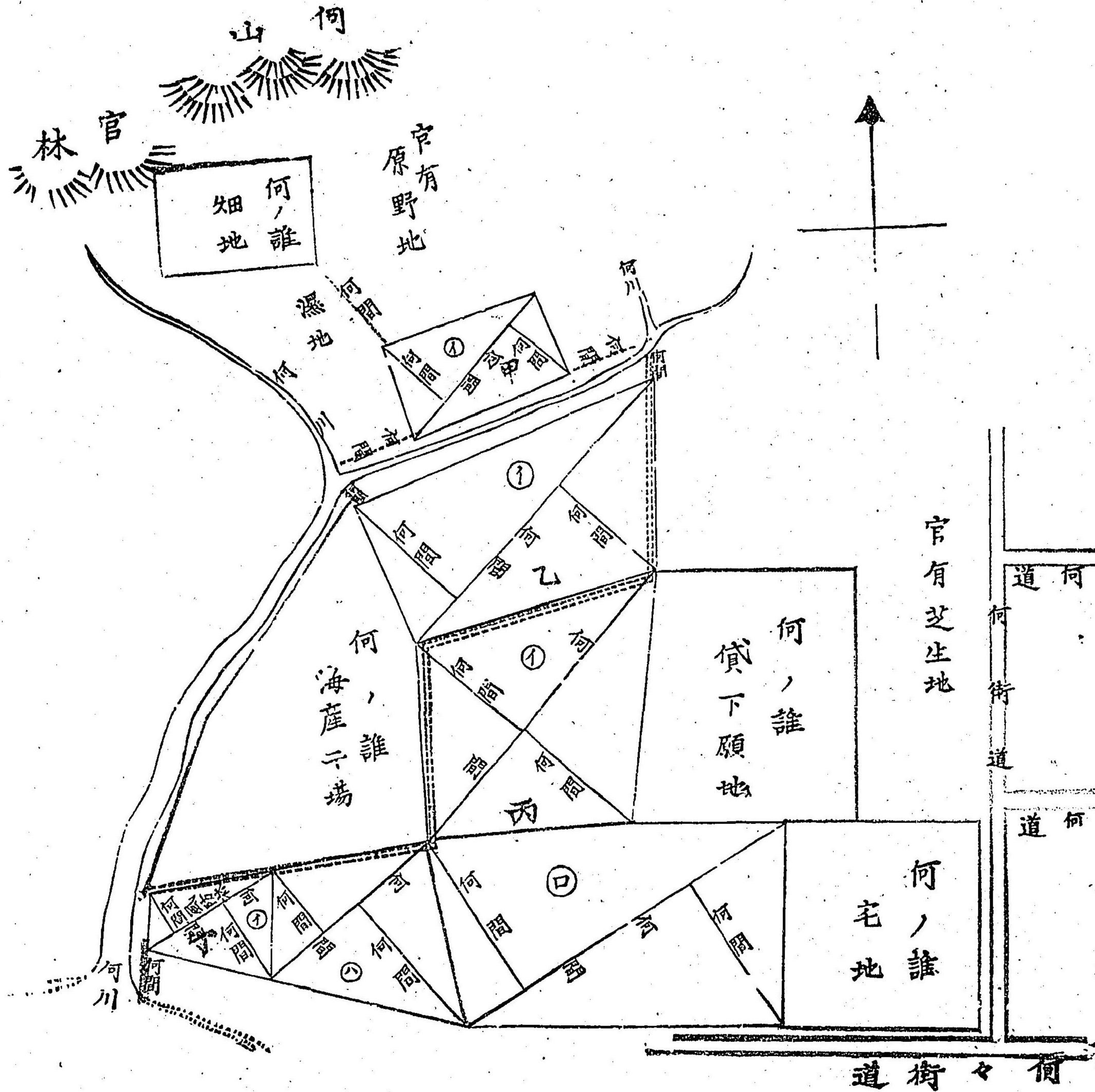
乙 畑 段別何反何畝何步  
 (イ) 何拾何坪何合何夕  
 此二除何拾何坪何合何夕

丙 田 段別何反何畝何步  
 (イ) 何拾何坪何合何夕  
 (ロ) 何拾何坪何合何夕  
 (ハ) 何拾何坪何合何夕

計 何百何拾何坪何合何夕  
 此二除何百何拾何坪何合何夕

丁 風防林 段別何反何畝何步  
 (イ) 何百何拾何坪何合何夕  
 此二除何百何拾何坪何合何夕

合段別何町何反何畝何步  
 段別何反何畝何步  
 用惡水路 段別何反何畝何步  
 外 道路敷地 段別何反何畝何步



備考

道路河川ノ迂若クハ近接貸下地等ノ隅角(若シ之レナキトキハ)ノ如キ移動ナキ箇所ニ箇所  
 以上ニ繫線ヲ施シ實測間數ヲ記入スヘシ丈量ハ實地ニ於テ三斜ヲ施スヘシ  
 道路河川及溝渠ヲ挾ムトキハ分筆(例ハ甲)ニ丈量スヘシ  
 風防薪炭用地ハ別筆ニスヘシ  
 新設道路及ヒ用惡水路敷地ニシテ公供ノ用ニ供セサルモノハ其墾成地積ニ算入スヘキ  
 ナテ外書ヲ要セス

一筆内ヲ分筆スルトキハ甲乙丙丁ノ符號ニヨリ相當番號ヲ付スヘシ  
 右ノ外四至ノ景況ヲ詳記スヘシ



○北海道廳令第六號

明治二十四年<sup>八月</sup>告示第二十四號中當廳地理課小樽檜山函館浦河釧路根室増毛派出所ヲ廢シ右管理區域内土地ニ關スル左ノ願届書ハ其所管郡區役所ニ差出スヘシ  
本令ハ明治二十六年四月一日ヨリ施行ス

明治二十六年三月二十四日

北海道廳長官 北垣國道

一 明治十九年<sup>六月</sup>閣令第十六號北海道土地拂下規則ニ依ル土地貸下拂下ニ關スル件

○北海道廳告示第十九號

明治二十六年<sup>三月</sup>當廳令第五號北海道土地拂下規則施行手續第一條第一項ニ依リ本年中貸下クヘキ區畫地ハ左ノ如シ



明治二十六年三月二十四日

北海道廳長官 北垣國道

三十八

- 一 石狩國空知郡奈江原野區畫地ノ内貸下殘餘ノ分
- 一 同國同郡幌向原野區畫地同上
- 一 同國夕張郡馬追原野區畫地同上

○北海道廳告示第二十號

明治二十六年三月<sup>三</sup>當廳令第五號北海道土地拂下規則施行手續第一條第二項ニ依リ貸下クヘキ土地ノ區域ハ左ノ如シ

明治二十六年三月二十四日

北海道廳長官 北垣國道

- 一 渡島國壹圓
- 一 日高國壹圓
- 一 後志廳振兩國

但後志川沿岸ノ原野及其連續地ニシテ洞爺湖ニ至ル

原野千歲郡ノ内北ハ國境西南ハ札幌室蘭間道路ヲ限リマヽン川ヨリ東北ニ折ン山麓及幌向原野區畫地ヲ限ル原野

ヲ除ク

一 石狩國

但空知郡「フラス」原野及其連續地ニシテ北ハ「ピエ」

ツ「兩川」ニ至ル原野並ニ「ナイヌイ」川ヨリ石狩川左

岸ニ沿ヒ「ナキリカ」川ニ至ル原野

夕張郡由仁登川角田三村ノ内東南ハ山ニ沿ヒ西ハ

馬追山麓及夕張川ニ沿ヒ北ハ「ハチヤン」川ニ至

ル原野

上川郡豫定市街地ヨリ石狩川沿岸神居古潭ニ至ル

三十九



原野

札幌石狩樺戸空知四郡ノ内西南ハ札幌錢函間鐵道ノ左右及札幌室蘭間道路東南ハ嶋松江別石狩幌向ノ諸川ヨリ鐵道及郁春別川ニ沿ヒ東ハ市來知月形兩村間道路路北ハ阿曾岩山麓ヲ經テ海岸ニ至ル原野ヲ除ク

○北海道廳告示第二十一號

明治十九年八月當廳甲第八號布達北海道土地拂下規則施行手續ニ依リ土地貸下出願中未タ踏檢ヲ受ケサル者ハ調査上ノ都合有之ニ付來七月三十一日限左ノ事項ヲ所轄郡區役所又ハ地理課派出所へ届出ヘシ

明治二十六年三月二十四日

北海道廳長官 北垣國道

一 戶籍寫 原籍市町村長若クハ區長ノ證明アルモノ

一 左ノ雜形ニ準據シタル實地ノ圖面

(届書式)

御 届

何國何郡何町(村)字何々番地

一 原野地 又ハ何坪貸下出願

但明治何年何月何日何戸長役場へ提出

(一人ニシテ前記ノ如ク列載スヘシ)

右本年三月告示第二十一號ノ趣ニ依リ別紙戶籍寫並ニ圖

面相添此段御届任候也

現住所 (出願當時ノ住所ニ異動アルモノハ新番共ニ記載スヘシ)

明治何年何月何日

氏 名 印



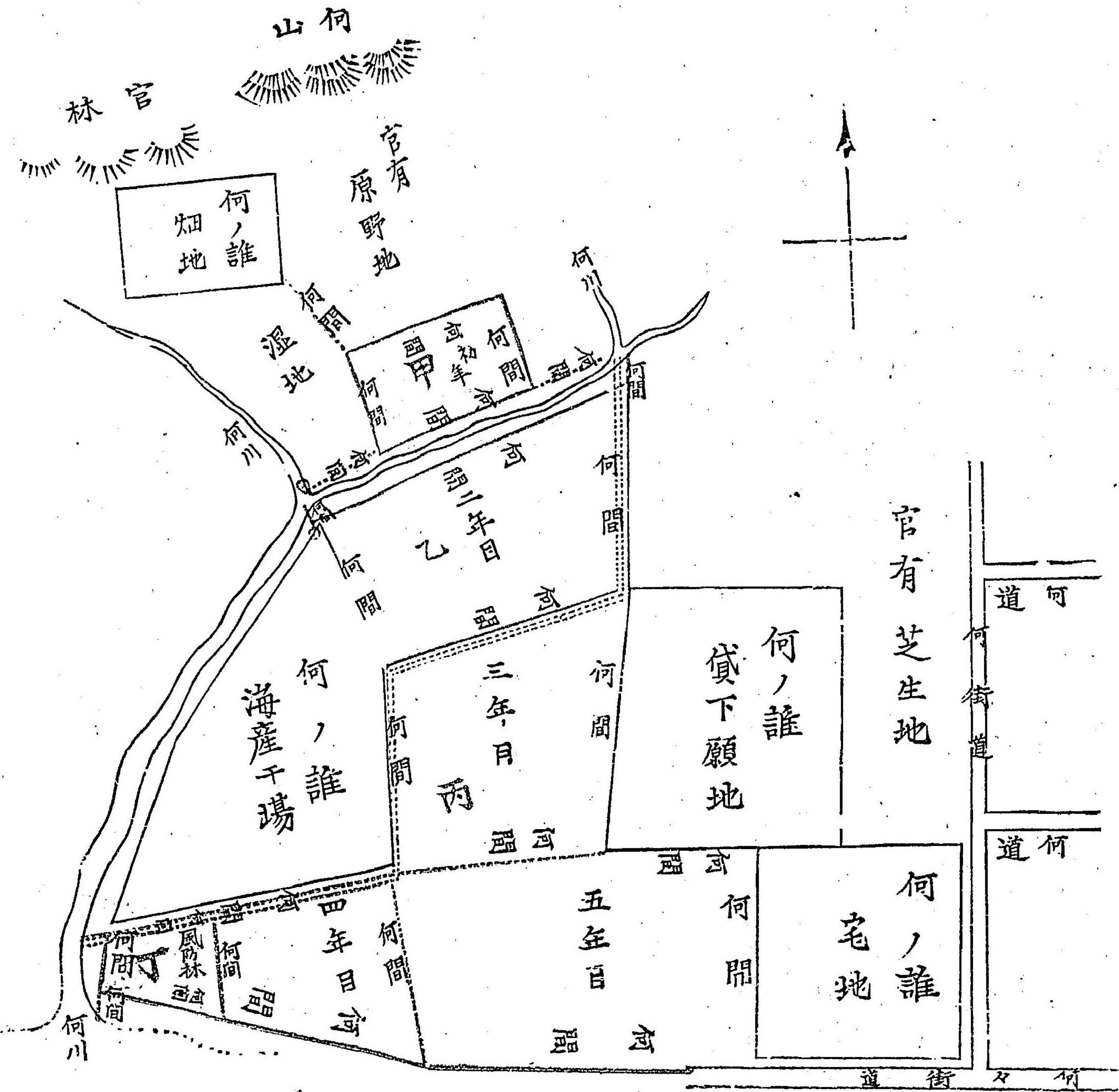
北海道廳長官宛

四十二



何國何郡何町(村)字番地  
 一原野地何々何坪  
 此譯  
 甲 何坪  
 乙 何坪  
 丙 何坪  
 丁 何坪

願人 氏 名印



備考

基點 道路河川ノ辻若クハ近接貸下地等ノ隅角(若シ之レナキトキハ)ノ如キ移動ナキ個所ニ「印」ヲ以テ基點ヲ明カニスヘシ

繫線 前項基點ノ例ニ依リ一筆毎ニ二個所以上ヲ實測シ朱點ヲ施シ其間數ヲ記入スヘシ

間數 地域ニ從ヒ周圍ニ間數ヲ明記スヘシ

區畫 數年ニ配當シ開墾スルモノハ其區域ニ朱線ヲ引クヘシ風防薪炭用地區域モ亦全シ

除地 道路河川及溝渠ヲ挾ムトキハ各筆(例ハ甲)ニスヘシ

敷地 新ニ道路及用悪水路ヲ設ルモノハ其個所ニ二條ノ朱點ヲ施スヘシ

右ノ外四至ノ景況ヲ詳記スヘシ



訓第九十一號

郡區役所札幌室蘭ヲ除ク

北海道土地拂下規則施行手續取扱順序左ノ通相定メ本年四月一日ヨリ施行ス

明治二十六年三月三十日

北海道廳長官 北垣國道

北海道土地拂下規則施行手續取扱順序

第一條 貸下願書ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ其方法確

實ト認ムルモノハ實地ヲ踏檢シ土地ノ景況ト事業ノ難

易トニヨリ貸下期限ヲ定メ調査濟証印ヲ押捺シ郡區長

之ニ檢印シテ其都度進達スヘシ

第二條 制限外ノ貸下願書ヲ受ケタルトキハ起業方法確

實ニシテ成功ヲ遂ケ得ヘキ哉否及ヒ願人資産ノ如何等



ヲ審査シ之ニ意見ヲ付シテ本廳へ送付スヘシ  
前項ノ願書ニ **要踏檢** ノ印章ヲ押捺シテ再ヒ回付ヲ受ケ  
タルトキハ速ニ踏檢ヲ了シ更ニ意見ヲ付シテ進達スヘ  
シ

第三條 施行手續第二十條但書實測圖及財産調書徴收ノ  
通牒ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ徴シ送付スヘシ

第四條 牧畜ノ目的ヲ以テ貸下ヲ願出タルトキハ第一條  
ノ手續ニ依ルノ外尙ホ實地ノ適否ヲ精覈調査シ之レニ  
意見ヲ付シテ進達スヘシ

造林ノ目的ヲ以テ願出テタルトキ亦全シ

第五條 宅地ノ目的ヲ以テ貸下ヲ願出テタルトキハ左ノ  
制限ニ據ラシムヘシ

- 一 郡村宅地ハ一戸ニ付壹千坪以內
- 二 市街豫定地ハ一戸ニ付一區盡限リ

第六條 海産乾場ノ目的ヲ以テ貸下ヲ願出テタルトキハ  
左ノ制限ニ據ラシムヘシ

但二種以上ノ漁業ヲ兼スル者ハ其地積ノ最モ大ナル  
モノニ就キ貸下ヘク若シ事業擴張ノ爲メ本條制限外  
貸下ヲ願出タル者アルトキハ事實ヲ審査シ之ニ意見  
ヲ付シテ進達スヘシ

- 一 鯨建網 (行成網及角網)
  - 壹統ニ付千五百坪以內

二 全差網

拾放ニ付百坪以內



三 全引網、小舌網、巾着網

壹統 = 付千五百坪以內

四 鮭引網

壹統 = 付千坪以內

五 行成網、角網、金折網、大房網

壹統 = 付八百坪以內

六 鮭小舌網、巾着網、卷網

壹統 = 付八百坪以內

七 鯉建網、八手網

壹統 = 付五百坪以內

八 全引網、巾着網

壹統 = 付千五百坪以內

九 鱒及ヒ鰯建網、引網

壹統 = 付五百坪以內

十 鮪大房網

壹統 = 付千坪以內

十一 鱈鮠鯉鮫持付船

壹艘 = 付二百坪以內

十二 全川崎船

壹艘 = 付五百坪以內

十三 雜魚建網

壹統 = 付五百坪以內

十四 全引網

壹統 = 付三百坪以內



十五 全手操網

壹統ニ付百五拾坪以內

十六 昆布胴海船

壹艘ニ付千坪以內

十七 全持付船

壹艘ニ付四百五拾坪以內

十八 昆布磯船

壹艘ニ付三百坪以內

第七條 左ノ事項ニ該ルモノハ理由書ヲ徴シ之レニ意見ヲ付シテ進達スヘシ

- 一 一家族ニシテ各別ニ貸下ヲ願出ツルモノ
- 二 起業方法ノ如ク成功セサル土地ヲ讓與セントスル

モノ

三 貸下後目的方法ノ變更ヲ願出ツルモノ

第八條 貸下期限中目的方法ノ變更ヲ願出ツルモノニシテ事實相當ト認ムル場合ト雖モ既定年限ノ外延期スルヲ得ス

第九條 貸下期限中ハ別ニ定ムル處ノ規定ニ從ヒ成功地ヲ點檢スヘシ

第十條 拂下願書ヲ受ケタルトキハ成功ノ適否ヲ審査シ實地ヲ測量シテ圖面ヲ製シ願書ト共ニ進達スヘシ

第十一條 貸下期限中返地ノ場合ニ於テハ既ニ伐採シタル樹木代價ハ施行手續第十六條ニ基キ明治廿一年本廳令第三十一號官林木特賣規則附屬官林木特賣定價表ニ



ヨリ徴收ノ手續ヲナスヘシ

第十二條 規則第八條ニヨリ貸下地ノ返納ヲ命シタルト

キハ實地ヲ検査シ既墾未墾ノ地積其建物ノ景狀等圖面  
ヲ製シ之ヲ本人ニ示シ費用調書ヲ徴シ審査ノ上進達ス  
ヘシ

第十三條 規則第四條但書ニヨリ延期ヲ願出テタルトキ

ハ其延期ハ最初付與セシ年期ノ半減内ニ止メシメ事實  
及事業ノ現狀ヲ審査シ之ニ意見ヲ付シテ進達スヘシ

第十四條 規則第六條第二項ニヨリ延期ヲ願出テタルト

キハ其事實及ヒ被害ノ大小輕重並ニ停業日數ノ長短等  
ヲ審査シ既墾未墾ノ地積ヲ區別シテ之ニ意見ヲ付シテ  
進達スヘシ

第十五條 前各條ニ規程スル外貸下拂下ニ關シ特別ノ處

分ヲ要スルモノアルトキハ其事實ヲ審査シ意見ヲ付シ  
テ進達スヘシ

第十六條 土地貸下拂下ニ關スル事務ノ實況ハ別紙雛形

ニ依リ每一ヶ月分ヲ翌月十日限リ報告スヘシ







(備考)

願届書却下セシトキハ進達ノ欄ニ朱書シ進達ト區別  
 スヘシ本年三月三十一日迄ニ受理セシモノト四月一  
 日以降受理セシモノト各別表ニ調製スルモノトス  
 甲第十五號<sup>二十日</sup>郡町村市區  
 明治二十二年<sup>五月</sup>本府甲第三十三號達ヲ廢止ス  
 右相達ス

(參照)

廿二年甲第三十三號  
 徵兵事務取扱手續ノ件

甲第十六號<sup>三月</sup>市區  
 臨時市部會開會ノ件

甲第十七號<sup>七月</sup>郡  
 郡吏署中休暇ノ件  
 甲第十八號<sup>廿八日</sup>郡市區町村  
 明治二十五年十二月六日甲第五十九號達ヲ取消ス  
 右相達ス

(參照)

區役所町村役場ニ於テ保管スル國稅滯納處分剩餘金行旅死亡人所持  
 金等取扱方ノ件

甲第十九號<sup>七月</sup>郡町村市區 畧  
 甲第二十號<sup>十九日</sup>郡市區  
 先般府縣統計書様式廢止相成候處明治十七年本府乙第二  
 百三十八號達統計材料様式中左之二十表ハ必要ニ付從前



ノ通取調期限ヲ謬ラス差出スヘシ  
右相達ス

山嶽ノ景狀、原野ノ景狀、池沼湖ノ周圍及面積、産牛  
及屠斃牛、産馬及斃馬、民林ノ反別及山番人、民林所  
有者ノ數及所有ニ依テ分テタル反別、民林ノ伐木及損  
害、道路ノ新開及修繕坪數、道路ノ新開及修繕費、橋  
梁ノ個數及坪數、橋梁ノ新架々換及修繕費、堤防ノ築  
造及修繕、堤防ノ築造及修繕費、溜池及水路、修繕  
ノ溜池及水路、溜池及水路修築費、質屋ノ賃金、港灣  
ノ景狀、海運ノ賃錢

甲第二十一號<sup>廿九日</sup> 郡町村市區

徵兵令第二十三條及ヒ同條例第五十六條豫備徵員徵集方

ハ左式ノ通郡區役所ニ於テ調製シ郡ハ町村役場ニ交付シ  
充員召集令狀同様取扱フヘシ

明治	年	兵第	番豫備徵員	氏	名
郡(區)町(村)字					
右徵集相成候條二十四時間以内ニ出發當郡(區)					
役所ニ參集スヘシ					
明治	年	月	日	郡(區)長	氏
					名
					印

曲尺六寸五分



裏

前書之金員相渡候也	召集地名	陸路	瀛車路	旅費	日當	計
	里	哩	金	金	金	金
	里	哩	金	金	金	金
	哩	金	金	金	金	金
	金	金	金	金	金	金
明治 年 月 日	出納官吏		氏 名			

右相達ス

甲第二十二號<sup>九月廿八日</sup> 郡市區  
 明治廿四年甲第十四號達(土地ニ係ル地方税其他不納者公

賣處分統計様式(自今廢止ス)  
 右相達ス

甲第二十三號<sup>三月十一日</sup> 郡町村市區 署  
 甲第二十四號<sup>十一月十一日</sup> 郡町村市區

明治二十年<sup>四月</sup>府令第六十號陸軍召集事務細則第二十八條  
 充員名簿調製方并ニ召集令達ニ要スル準備梗概及ヒ様式  
 左ノ通更正候條速ニ調製方取計フヘシ

梗概

- 一 充員召集後備軍召集名簿トモ各兵種毎ニ區分シ後備軍  
 ヨリ充員補足トナルモノハ各其兵種ノ次ニ列シ豫備徵  
 員モ同様各其兵種充員補足ノ次ニ列ス
- 一 充員召集後備軍召集名簿トモ近衛ヲ先列トシ第四師團



- 諸兵ヲ後列トナスモノトス
- 一豫(後)備將校下士アル町村役場ニアツテハ兩名簿トモ其上席へ將校下士ノ部分ヲ設ケ列シ置クモノトス
- 一各兵種トモ上等兵ヲ上席ニ列シ下士適任証書ヲ所持スルモノハ先例ニ依リ朱記ス
- 一近衛隊屬并ニ充員補足又ハ一部ノ召集ニ際シテハ各兵ノ内へ數種ノ名稱アルヲ以テ各其名稱毎ニ區分スルモノトス
- 一輜重輸卒ハ入營ト未入營トヲ區分スル爲メ姓名欄内へ(未)若クハ(入)ト朱記スルモノトス
- 一失踪者ハ其年月日ヲ詳記スルモノトス
- 一償勤者ハ其償勤ノ理由ヲ詳記スルモノトス

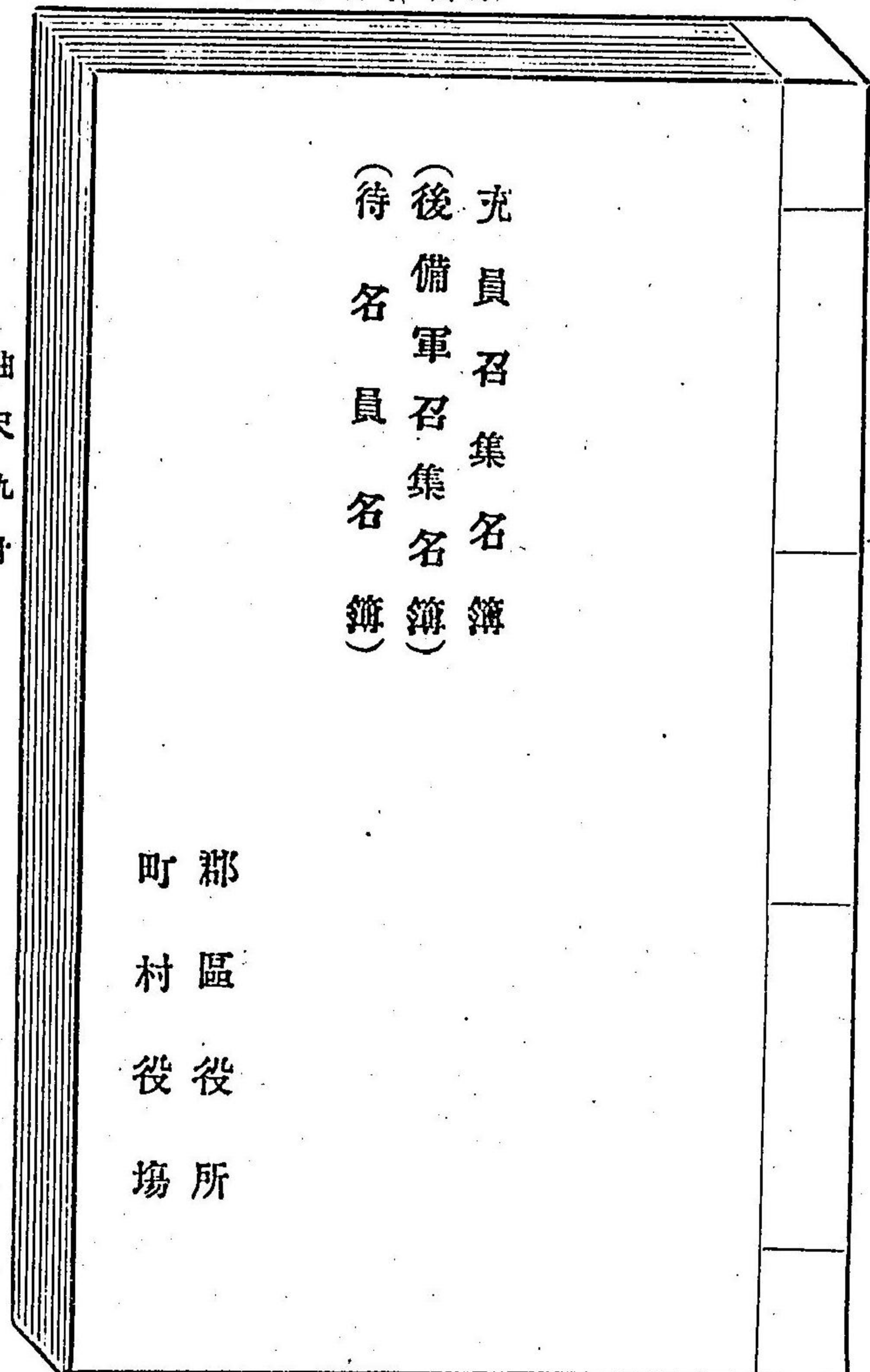
- 一警報ハ各種召集兵員ナキ町村役場ト雖モ揭示スヘキモノニ付何レモ種類別ニ記入シ置クモノトス但公衆ノ目ニ觸レ易ク大書スルモノトス
  - 一寄留地ヨリ直ニ召集ニ應スヘキ許可ヲ得タルモノハ其通報人并ニ旅費受領者(委任状)ノ名簿ヲ備置クモノトス
  - 一隊號ハ近衛兵及ヒ歸休兵ノミ記入スルモノトス
  - 一召集令狀裏面へハ第五様式ヲ糊付シ一人毎ニ第四様式ノ狀袋ニ入レ第六様式ノ厚紙大袋へ各種毎ニ一纏メトナシ保管スルモノトス
- 右布達ス



第一様式 其一 美濃紙ニツ折

六十二

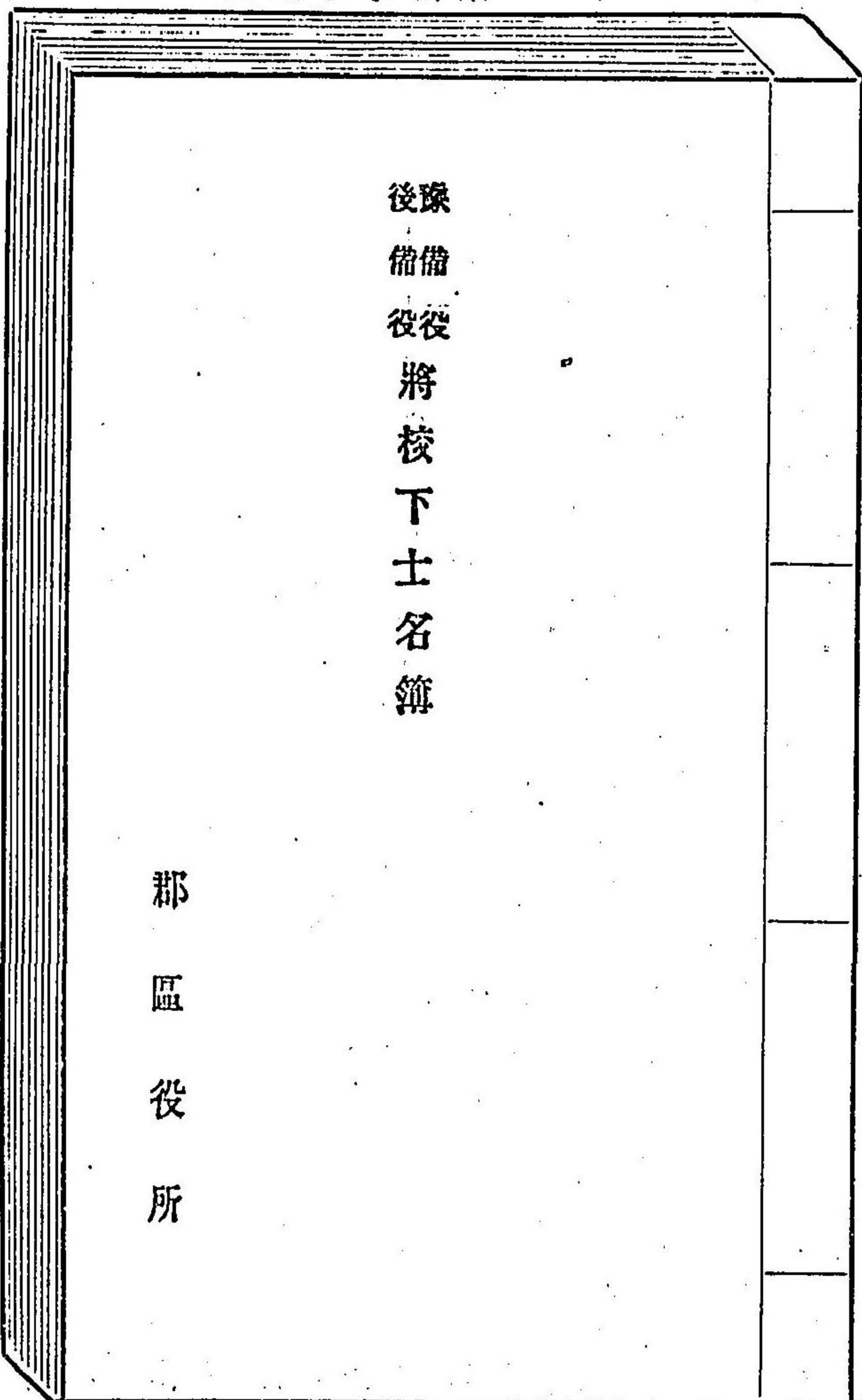
冊尺六寸五分



冊尺九寸

第一様式 其二 美濃紙ニツ折

冊尺六寸五分



冊尺九寸

(郡區役所ノミ備フルモノトス)

六十三



第一様式 其三

一發紙ハ濫用厚紙  
一拔差名刺ハ長八寸五分巾一寸

一拔差名刺ハ半面ニ五枚トス  
一黒筋横帯ハ切レ地ニシテ巾三分

六十四

充員召集名簿

歩兵ノ部

集合地名	到着日数	里程	旅費金	摘	住所	年兵年度	姓	名
大津	何日	何十里	金何圓何十錢	年月日歸休 年月日備(後備) 年月日備(後備) 年月日依(輕) 年月日重(輕)	何町字何	廿年二 次 兵	何	某
大阪	何日	何十里	金何圓何十錢	年月日失踪 年月日歸村	何村字何	十九年 步兵	何	某
						上等兵		

工兵ノ部

伏見  
何日  
何里  
金何十錢

何村字何  
十九年  
工兵  
何  
某

輜重兵ノ部

大阪  
何日

大阪	何日							

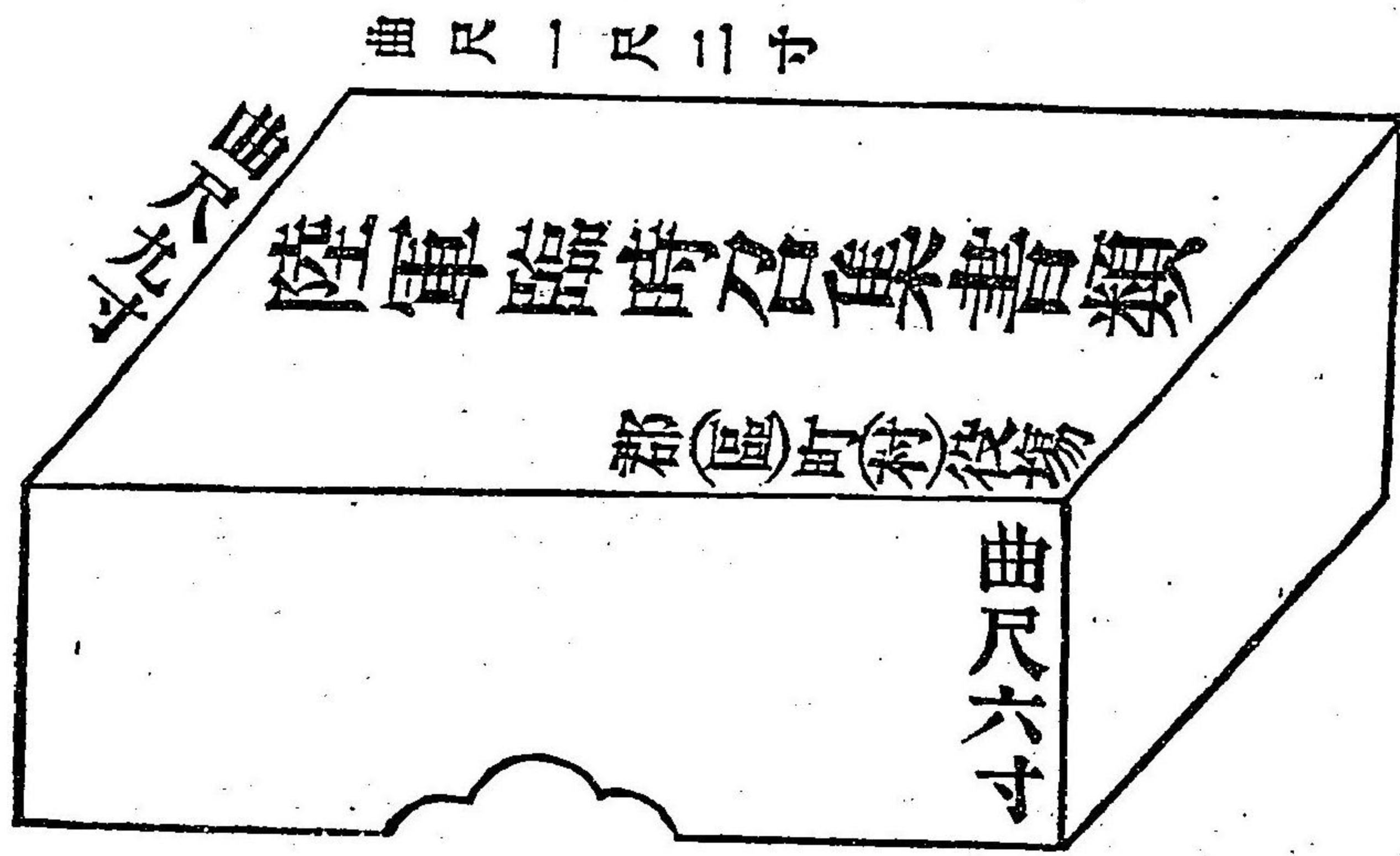
一 下士兵卒ニシテ撥築術、電信術、全建築術、蹄鐵術等卒業ノモノハ右肩ニ本紙雜形ノ如ク記入ノ  
一 本表ハ一例ヲ示シタルモノナレハ兵種ノ區分方ト近衛師團ト第四師團ノ區分等ハ册百ニ小切レ厚紙ヲ付シ見出ノ  
便ニ供ス

六十五

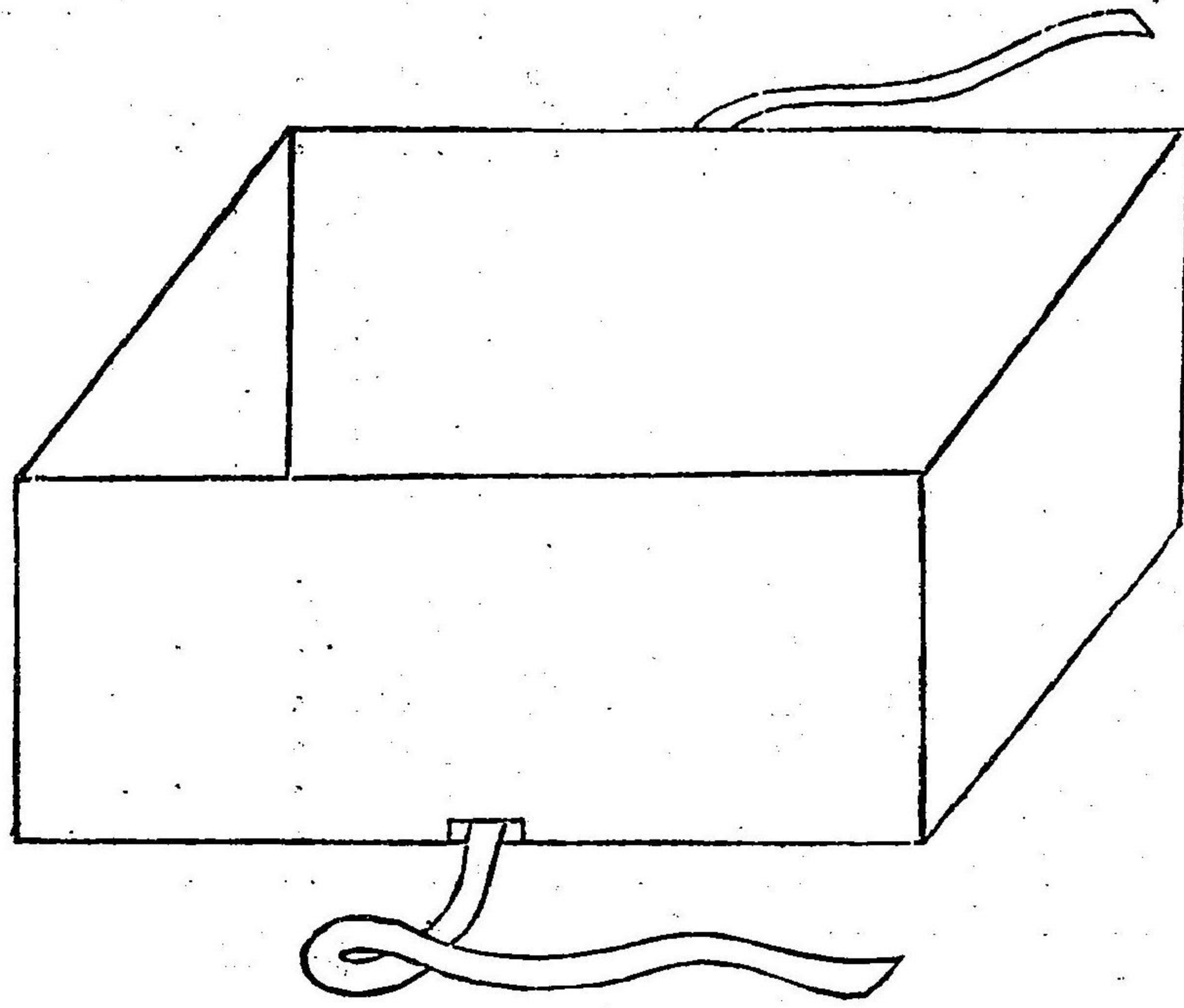


六十六

第二様式



此蓋裏へ第三様式ノ目錄  
ヲ貼付ス



六十七







式樣五第

組 長 印 卡

曲尺五寸五分

此令狀受領後廿四時間内ニ出發當郡役所  
(町(村)役場)(京都市(直税署)ニ到リ旅費  
ヲ受領スヘシ  
但軍隊手帖及ヒ實印携帯ノ  
明治 年 月 日  
區 役 所  
町(村)役場 印

一召集令狀 一通

右正ニ受領候也

明治 年 月 日 區町(村)字  
氏 名 印

后前 時 分

式樣六第

斗 六 尺 肆

用紙濫引厚紙  
曲尺八寸

充員召集令狀

近衛後備軍召集令狀



ア+11

後備軍召集令状

待命員令状

朱書

此令状ハ別段ノ命令アルニ非サレハ發セサルモノトス

近衛充員召集令状

裏面

ア+111



甲第二十五號<sup>十六日</sup> 郡市區 署

甲第二十六號<sup>二十一日</sup> 郡町村市區

明治廿年當府甲第九十號達中左ノ通改正ス

四 本人性質體格

温良(敏捷)等

強健(稍健)等

五 品行

父

一 裁判所或ハ警察署ノ証明書

(身代限輕罪以上賭博犯ノ處分ヲ受ケタル有無平素

品行方正(稍正)等

現時ノ戶主

一 父ノ項ニ同

本人

一 父ノ項ニ同

右相達ス

甲第二十七號<sup>九十一日</sup> 町村市區

客年<sup>六</sup>當府甲第三十貳號達ニヨリ鑛物試堀又ハ採堀ノ事

業ニ付公益ノ害否具申書中屆書受理ノ月日ヲモ明記スヘ

シ

右相達ス

(參照)

本年甲第三十一號ヲ以テ但書追加

甲第二十八號<sup>廿一日</sup> 郡



神奈川縣横濱市ニ係ル所得税法施行細則第七條及第九條ノ事務ハ來ル十二月一日ヨリ横濱收稅署長ヲシテ爲取扱候旨通知越候條右ニ關スル事項ハ同署長へ通報スヘシ  
右相達ス

甲第二十九號 十一月廿三日 郡町村市區

本府々令公示ハ市區役所町村役場郡令ハ郡内町村役場ニ於テ便宜一定之縦覽所ヲ設ケ且ツ其番號月日件名ヲ摘記シ到達之日ヨリ七日間役所役場門前ニ揭示スベシ  
右相達ス

甲第三十號 十一月廿八日 郡

大阪府大阪市及ヒ堺市ニ係ル所得税法施行細則第七條及ヒ第九條ノ事務ハ來ル十二月一日所轄收稅署長ヲシテ爲

取扱候旨通知越候條右ニ關スル事項ハ同署長へ通報スヘシ

右相達ス

甲第三十一號 十一月三十日 町村市區

本年當府甲第二十七號達ニ左ノ但書ヲ追加ス  
但受理月日ハ願人直接届出又ハ郵便届出等ヲ明記シ郵便ニヨリ届出タルモノハ其封皮ヲ添付スヘシ

右相達ス

甲第三十二號 十一月十一日 郡

静岡縣静岡市ニ係ル所得税法施行細則第七條及第九條ノ事項ハ示來静岡收稅署長ヲシテ爲取扱候旨通知有之候條右ニ關スル事項ハ同署長へ通報スヘシ



右相達ス

七十八

甲第三十三號<sup>十一月十三日</sup> 郡町村市區

出生死亡ノ届出ヲ怠リ時効經過ノ爲メ處罰セラレサル者  
ハ無籍者就籍ノ手續ニ依リ當應ヘ願出サセ來候處右ハ自  
今出願ヲ要セス郡ハ町村役場市ハ區役所限リ届出ニ依リ  
加除スル儀ト心得ヘシ

右相達ス

甲第三十四號<sup>十一月十五日</sup> 市參事會郡町村

市町村及水利組合ニ於テ募集スル公債ハ財政上特ニ必要  
ト認ムル場合之外ハ容易其許可ヲ與ヘラレサル義ニ付務  
マテ之レヲ避クヘキハ當然ノ事ト雖モ萬一其事情已ムナ  
得サルノ時ニ際シ許可ヲ稟請スルニハ其事業ノ利害緩急

負担ノ輕重堪否等ニ關スル詳細ノ意見ヲ具シ尙ホ正當議  
決書ノ外左記ノ事項ヲ記シテ進達スヘシ  
右相達ス

一 公債并ニ利子償還ノ財源

但將來收入ヲ生スヘキ事業ノ爲メ公債ヲ起シ其收  
入ヲ以テ償還ニ充テントスルハ償還期限ノ終リ  
迄毎年収入ノ年次見込書ヲ添付スヘキハ勿論ナリ

一 公債元利償還ノ年次表(別紙第一表)

一 當該年度歳入歳出豫算表

一 當該年度諸稅負擔一覽表(別紙第二表)

一 基本財産ノ有無并ニ其額

一 舊債ノ有無并ニ其額

七十九



負債償還年次表 (第一表)

年 度	償 還 元 金	利 子 (割 合)	計
何 年 度	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇
全	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇
全	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇

諸稅負擔一覽表 (第二表)

稅 目	金 額	納稅者總數ニ對スル平均一人當	總人口ニ對スル平均一人當	總戶數ニ對スル平均一人當
直接國稅	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇
府 縣 稅	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇
市 町 村 稅	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇

總人口總戶數及納稅者ノ總數(納稅者ノ總數ハ一人ニシテ直  
 ルモノ或ハ其内ニ稅又ハ二稅ノミヲ納ムル)ヲ備考トシテ掲載  
 モノモ凡テ一人ニ算シタル總人員ヲ云フ)ヲ備考トシテ掲載  
 スヘシ  
 水利組合ニ於テ要スル負債ニ付テハ水利組合區域内ニ  
 リ納ムヘキ諸稅目ヲ前表ニ準シ調製シ尙ホ左表ヲ添付  
 スヘシ

費 目	金 額	附 記
水利組合費	〇、〇〇〇	普通水利組合ニ於テハ組合内ノ總反別總地價 及地價平均壹圓當并ニ出費一人ノ平均負擔 額水害豫防組合ニ於テハ組合内家屋ノ總數土 地ノ總反別并ニ出費一人ノ平均負擔額
	〇、〇〇〇	

甲第三十五號 二十二月 郡  
 明治二十三年七月 甲第三十四號現金前渡取扱規則別冊之通



改正シ明治廿七年一月一日ヨリ施行ス  
右相達ス

別冊

現金前渡取扱規則

第一條 徴兵檢丁及入營旅費棄兒養育費窮民救助費ハ其  
都度第一號書式ニ準シ請求スヘシ

但本文現金前渡ニ係ル款項目ノ稱呼ハ年度開始前ニ  
於テ内務部長ヨリ通知セシム

第二條 第一條ノ請求ニヨリ現金ヲ受取タルキハ速ニ各  
自ニ支給スヘシ

第三條 郡長ハ第二號書式ノ現金出納簿ヲ設ケ出納ヲ登  
記スヘシ

第四條 現金前渡ヲ受ケタル各項ノ金額ハ交互流用支給  
スルヲ得ス

第五條 郡長ハ受取金ヲ各自ニ仕拂濟ノ後殘金アルキ徴  
兵旅費ハ其都度棄兒養育費窮民救助費ハ年度尾ニ第三  
號書式ニ準シ各自毎ニ區分シ之ヲ報告スヘシ

第六條 前條ノ殘金ニ對シ返納告知書ヲ受ケタルトキハ  
該告知書ニ現金ヲ添ヘ指定ノ金庫ニ納付スヘシ

第七條 受取金ハ翌月十日以内ニ(徴兵費ノミノ現金前渡ヲ受  
了了ノ日ヨリ)明治二十六年十月十日以内ニ會計検査院達第三號現金  
前渡金仕拂證明規程ニ依リ仕拂計算書ヲ調製シ証憑書  
類ヲ添ヘ仕拂命令官ニ送付スヘシ  
但本文發送前其郡内警察署長ニ別紙第四號書式ノ保











總括		受		拂		残	
摘要	受		拂		残		
	円	或 厘	円	或 厘	円	或 厘	
高 締 業 前 次 追 月 何 々 渡 何 々 渡 何 々 渡			30000		65000		
	50000		10000				
			30000				
			20000		5000		
何月分合計	50000		90000				
累計	320000		315000				
「簿首ニ口座ヲ設ケ各科目ニ分タス出納ノ都度 一科目毎ニ集計記入スルモノトス」							

何々(項)		何々(目)			
年月日	摘要	受		拂	
		円	或 厘	円	或 厘
明治何年	何々元				
何々	何々	50000			
何々	何々			5000	
何々	何々			5000	
何々	何々			5000	
何々	何々			5000	
何々	何々			5000	
何々	何々			5000	
何々	何々			5000	
何々	何々			5000	
何々	何々			5000	
何月分合計		50000		40000	
「簿尾ニ各目毎ニ口座ヲ設ケ其出納ヲ詳記 スルモノトス」					



年月日	摘要
明治何年	
何何	徴兵檢丁族費領受
ク何	宛民救助米代全上
クク	徴兵檢丁族費何某外何人渡
ク何	全上何某外何人渡
ク何	宛民救助米代何某外何人渡
何何	何々領收
ク何	何々渡
何ク	何々渡
ク何	何々領收
クク	何々全上
クク	何々渡
ク何	何々渡
何何	何々渡

總括

要	受		拂		残		年月日
	円	匁	円	匁	円	匁	
	50	000			50	000	明治何年
	20	000					何ククク
			30	000	40	000	
			10	000	30	000	
			15	000	15	000	
何月分合計	70	000	55	000	65	000	
	50	000					
			10	000			
	100	000	30	000	125	000	
	50	000					
			50	000	125	000	
			80	000	45	000	
何月分合計	200	000	170	000			九十
累計	270	000	225	000			
			30	000	15	000	
何月分追次締高			30	000			



第二號書式

明治何年度  
現金出納簿

某郡役所

九十二

「第三號書式」

現金前渡殘金返納報告書

明治何年度

何々(款)

何々(項)

何々(目)

受取高金何程

一金何程

外

金何程

右返納金及報告候也

明治何年何月何日

仕拂殘高

仕拂濟

郡長 氏

名 印

九十三



府知事宛

「第四號書式」

保證書

京都府何郡役所

一 明治何年度何々(款)何年何月(自何月何日至何月何日)仕拂  
計算書

右計算書ハ現金出納簿ト符合及其現存額ヲ認メタルヲ  
保證ス(計算書ニ殘高ナキモノハ  
及其現存額ノ五字ヲ除ク)

明治何年何月何日

京都府何警察署長

警部 何

某印

府知事宛

「第五號書式」

(領收証ハ改換塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニシテ訂正ナラ  
スハハ朱記ヲ以テシ本人ヲシテ之ニ捺印セシムヘシナ)

証

一金何程

窮民救助(棄兒養育)費

但何々(算出シ得ル)

或ハ

檢丁(入營)旅費

右領收候也

何郡何町村字何何番戶

明治何年何月何日

受取人 何

某印

郡長 宛

「六號書式甲」

徵兵檢丁旅費仕譯書

一金何程

號 証第







乘用何月何日着泊全何日入團  
右之通有之候也

明治何年何月何日

郡長 氏 名印

「第六號書式丙」

乘兒養育米代仕譯書

一金何程

內 譯

証書號	一ヶ年	支給期節	給與米額	何月中一石當リ	石代金	乘兒名居	住 所	養育人
何號	斗	自何月何日	何升	〇	〇	誰	何郡何町村何何	某

但何年何月何日拾上ヶ何日ヨリ支給

何號	斗	自何月何日	何升何合	〇	〇	誰	何郡何町村何何	某
----	---	-------	------	---	---	---	---------	---

但何年何月乘兒滿十三年ニ付何月限支給廢止  
右之通有之候也

明治何年何月何日

郡長 氏 名印

「第六號書式丁」

窮民恤救米代仕譯書

一金何程

內 譯

証書號	一ヶ年	支給期節	給與米額	何月中一石當リ	石代金	摘 要	居 住 所	人 名
何號	斗	自何月何日	何石何斗	〇	〇	何々	何郡何町村何何	某



何號一ケ年自何月何日何石何斗 ○ ○何々何郡何町村何何 某

但何々ニヨリ何年何月何日ヨリ新々ニ救助

何號一 日自何月何日何斗何升 ○ ○何々何郡何町村何何 某

但何々ニヨリ何月何日限リ支給廢止

右之通有之候也

明治何年何月何日

郡長 氏

名印

備考

摘要ノ區ハ恤救名稱及一家數人ニ給スルモノハ一人  
毎ノ其名稱給與米額ヲ掲クヘシ

甲第三十六號 十二月 郡

明治二十三年三月 甲第十八號 諸收入收納取扱順序左ノ通改

正メ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

諸收入收納取扱規程

第一條 郡役所警察署收稅署ニ於テ收納スル國稅外ノ諸  
收入ハ大藏省主管トシ此規程ニ據リ取扱フヘシ  
諸收入ノ科目ハ毎年度開始以前內務部長ヨリ之ヲ通達  
セシムヘシ

第二條 郡長警察署長收稅署長ハ各其取扱事務ニ係ルモ  
ノ及ヒ當應各主務課ヨリ通牒スル所ノ諸收入ヲ測定シ  
及ヒ收納ヲ監督スヘシ

第三條 諸收入ヲ測定シタルハ第一號式測定元帳ニ該  
測定額及ヒ其事項ノ要領ヲ明記シ特別規程アルモノヲ  
除クノ外十五日以内ニ於テ適宜納期日ヲ定メ各納人ニ



對シ第二號式甲號又ハ乙號納入告知書ヲ發スヘシ但納人ヲシテ分任收入官吏ニ即納セシムル場合ニ於テハ納入告知書ヲ發スルヲ要セス

第四條 前條調定濟額ハ調定元帳ニ據リ第三號式調定濟額報告書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月一日當廳ニ送付スヘシ

第五條 納入告知書ハ分任收入官吏ニ送付シ之ヲ納人ニ交付セシムヘシ

但第三條但書ノ場合ニ於テハ其納額ヲ分任收入官吏ニ通知スヘシ

第六條 調定濟額ニ異動ヲ生シ調定減額若クハ不納缺損額トナリタルモノハ調定元帳ニ其事由ヲ朱記シ其都度

分任收入官吏ニ通知シ該員額ハ第四號式報告書ヲ調製シ翌月一日本廳ヘ送付スヘシ

第七條 諸收入ニ過誤納アリタルキハ調定元帳ニ其事由ヲ記載シ第五號式計算書ヲ調製シ正當受取人ノ下戻請求書ニ通テ添ヘ當廳ニ送付スヘシ

第八條 分任收入官吏ハ第五條ノ送付又ハ通知ヲ受ケタルキハ明治廿六年大藏省令第三十二號第十一號書式ノ收入簿調定濟額ノ欄内ニ其金額ヲ登記シ納入告知書ハ直ニ納人ニ交付スヘシ

第九條 納入告知書ハ納人ヲシテ納金ヲ納付スルキ之ヲ添付セシムヘシ

第十條 分任收入官吏ハ納金ヲ其納期限内ニ完納セサル



者アルハ直ニ督促ノ手續ヲ爲スヘシ  
前項督促スルモ尙ホ完納セサルカ又ハ猶豫等ヲ申出テ  
之ヲ納付スルノ資力ナシト認ムルモノアルハ其身代  
ノ實況ヲ取調ヘ知事宛ノ報告書ヲ調製シ調定官ニ差出  
スヘシ

第十一條 調定官ニ於テ前條ノ報告ヲ受ケタルハ其廳  
ノ取扱事務ニ係ルモノハ速ニ相當ノ手續ヲナシ當廳各  
主務課ノ通牒ニ係ルモノハ其主務課ニ送付シ處分ヲ求  
ムヘシ

第十二條 分任收入官吏ニ於テ第九條ノ納付ヲ受ケタル  
ハ納入告知書<sup>乙</sup>及ヒ收入簿ニ照シテ之ヲ領收シ其領  
收證ヲ納人ニ交付スヘシ

分任收入官吏ニ於テ第三條但書ノ納金ヲ收入スルハ  
收入簿ニ照シテ之ヲ領收シ明治廿六年大藏省令第三十  
二號第二號書式ノ領收証ヲ納人ニ交付スヘシ

第十三條 分任收入官吏ニ於テ前條納金ヲ領收シタルト  
キハ收入簿收入濟額ノ欄内ニ其金額ヲ登記シ其現金ハ  
明治二十二年大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則  
第十五條ニ依リ明治廿六年大藏省令第三十二號第三號  
書式ノ拂込書ヲ添ヘ之ヲ金庫ニ拂込ムヘシ

前項現金ノ受拂ハ同省令第三十二號第十四號書式現金  
出納簿ニ式ノ如ク記入スヘシ

第十四條 分任收入官吏ハ會計規則第廿七條ニ依リ金庫  
ヨリ領收濟ノ通知ヲ受ケタルハ之ヲ調査シ收入簿收



入濟額ノ欄内ニ其金額ヲ登記スヘシ  
 前項領收濟通知ニシテ國稅滯納處分費辨納金ニ係ルハ  
 ハ即時員額納人住所氏名辨償金ノ種類等ヲ調定官ニ通  
 知シテ其調定ヲ求メ全時ニ收入簿調定濟額收入濟額等  
 ノ欄内ニ登記スヘシ  
 監督官ハ會計規則第二十七條ニ依リ金庫ヨリ領收濟ノ  
 通知ヲ受ケタルトキハ調定元帳ニ照シテ調査シ順次綴  
 リ置クヘシ  
 第十五條 分任收入官吏ニ於テ調定減額ノ通知ヲ受ケタ  
 ルルハ收入簿調定濟額ノ欄内ニ其員額ヲ朱記シ調定額  
 ヲ扣除スヘシ又不納缺損處分濟ノ通知ヲ受ケタルルハ  
 收入簿不納缺損額ノ欄内ニ其員額ヲ登記スヘシ

第十六條 分任收入官吏ハ收入簿ニ依リ明治廿六年大藏  
 省令第三十二號第四號書式ノ收入報告書ヲ調製シ金庫  
 ヲ差出ス所ノ領收濟通知書及ヒ甲號歲入金突合表其  
 他第六號式明細書等ヲ添ヘ監督官ヲ經由シ翌月四日迄  
 ニ主任收入官吏ニ送付スヘシ  
 歲入調定濟額收入濟額及不納缺損額ニ異動ナク現金拂  
 込高ノミニ異動アル月ニ於テハ收入報告書ヲ送付スル  
 ニ及ハス明治廿六年大藏省令第三十二號第四號書式乙  
 現金拂込濟任譯書ニ金庫歲入金突合表ヲ添ヘ當廳ニ送  
 付スヘシ  
 調定及ヒ收入濟額ニ異動ナキ月ハ分任收入官吏ニ於テ  
 第七號式報告書ヲ調製シ調定官ヲ經由シ翌月一日當廳



ニ送付スヘシ

第十七條 現金即納通知書調定減額及ヒ不納欠損處分濟  
通知書滯納者身代實況報告書其他必要ナル帳簿書類ハ  
當該官ニ於テ適宜調製スヘシ  
右相達ス

(第壹號式)

明治何年度  
諸收入調定元帳

應  
名

備考

- 一本簿ハ經常及臨時ノ部門ヲ分テ目毎ニ口座ヲ設ケ記入  
シ用紙ハ美濃野紙ヲ用ヒ年度毎ニ別冊ニ調製スヘシ但  
廿六年度ハ従前ノ簿冊ヲ其儘繼續スルハ妨ケナシト雖  
モ各目但書ニ於ケル理由記載方本書式ノ如ク綿密ニ記  
入スヘシ
- 一分任收入官吏ヨリ收入報告書ヲ受ケタルキハ該報告書  
及付屬ノ明細書等ニ據リ本簿各目中一金若干ノ下ニ何  
年何月何日納済ト記入シ調定濟額及收入濟額收入未濟  
額等各其員額ヲ對查スヘシ
- 一納入告知書ハ勿論現金即納通知書ハ其員額ノ上部ト調  
定元帳當該員額ノ箇所トニ割印スヘシ



但調定減額及不納缺損額トナリタルモノハ當該員額ノ下ニ其事由ヲ朱記シ分任收入官吏ニ送付スル通知書ハ其事由ノ處ニ於テ割印スヘシ

一金額ノ肩書ニ何第何號トアルハ甲納入告知書若クハ納付書ノ番號ヲ記載シ現金ヲ領收セシムルモノハ現金即納ト記載スヘシ

大藏省主管何年度經常歲入

(目)

(何第何號)以下同之

何月何日

住所

一金若干

納人 氏 名

名

但何分引訴訟用(登記)印紙額面何程賣下代

住所

一金若干

納人 氏 名

名

但<sup>官官</sup>第何號何地若干壹ケ年料金若干ヲ以テ何年何

月何日ヨリ何ケ年期貸下ノ内<sup>初年何ケ月分</sup>貸下料

<sup>官官</sup>第何號何地何程何年何月何日ヨリ何ケ日間貸下

料<sup>官官</sup>第何號何地若干貸下ノ内<sup>何程</sup>官用引上(返地又ハ何

々)ニ付此年額若干ニ對スル何年何月ヨリ何ケ月分貸

下料

住所

納人 氏 名

一金若干

但何々税則違犯罰金(科料)

何年何月何日裁判確定刑法(地方)違警罪(何法令規則違



犯科料

〔翌月以降ニ於テ調定減額ヲナシタルモノ、例〕但朱書トス

住所

一金若干

〔納人 氏 名〕

〔但何年何月何日裁判確定何々金同日調定ノ分何々ニ據リ換刑何日ノ拘留〕又ハ何々處分濟ニ付調定減額ノ分

住所

一金若干

納人 氏 名

但何々税則ニ係ル何金何々違警犯拘留保証金何々ニ據リ何年何月何日處分濟沒收ノ分

住所

一金若干

納人 氏 名

但何品何々ニ付毀損紛失何年何月何日處分濟辨償ノ分

住所

一金若干

納人 氏 名

但何々ニ係ル訴訟印紙何程何裁判所迄里程何程ニ對スル旅費日當何日分何々謄寫料何程償却ノ分

住所

一金若干

納人 氏 名

但煙草製造營業證約何々入札規則何々契約違背ニ付何年何月何日處分濟ノ分



一金若干

住所  
納人 氏 名

但何年何月何日何收入官吏ニ於テ處分シタル何年度  
第何期何税滯納ニ係ル督促令狀何通此手數料若干差  
押調書費何程賣却調書費何程物件運搬費若干保管費  
若干賣却費若干訴訟用諸費若干辨納ノ分

一金若干

住所  
納人 氏 名

但何税則違犯ニ係ル書類送達費何程物件運搬費若干  
物件保管費何程辨納ノ分

一金若干

住所  
納人 氏 名

但何年度何々金何程何々ニ付過誤拂ニ屬シ返納ノ分

計金若干「調定ノ月内ニ於テ調定ヲ減額  
ナシタルモノハ之ヲ算入セス」 何月分

計金若干「朱書トス」 前月迄ノ調定扣除高

累計金若干「第二ヶ月前迄以降此累計ヲ設クヘシ又累計  
額ニハ前月迄ノ調定扣除高ヲ差引スヘシ」

大藏省主管何年度臨時歳入

(目)

何月何日

住所

一金若干

住所  
納人 氏 名

但何所何地若干何々ニ付拂下

住所

一金若干

住所  
納人 氏 名

但何所池川何程ノ場所魚鳥壹々年何程ヲ以テ何年何



月ヨリ向何々年月季拂下ノ内本年分拂下代  
何處何地ノ(立木何本若干)(枯倒木何本若干)(障礙木何本  
若干)(立竹何束若干)(何枝葉何貫束若干)(土石何坪若干)拂  
下

何税則違犯ニ係ル沒收何器何個何程(警察官吏拾得保  
管滿期官沒何品何個何程)何年何月何日拂下ノ分

住所

一金若干

納人 氏

名

但何々貸下返納殘額若干据置ノ處身代再興ニ據テ皆  
(資産ヲ盡シ返)納ノ分

計金若干「此以降常經ノ式ニ同シ」

備考

(第二號式)

領收證書及ヒ通知書用紙ノ納入金額納入年度種類等  
ハ總テ納入告知書發行廳ニ於テ記入スルモノトス

甲號

用紙適宜 縱四寸五分ノモノ二枚 縱四寸五分ノモノ一枚接續  
横三寸三分 横二寸五分

知 告 入 納)

元帳  
割印

第 何 號	某 年 度	何 郡 市 何 町 村 何 某 納
經 常 (臨 時)	何 々 (款)	何 々 (項) 何 々 (目)
大 藏 省 主 管	京 都 府	主 任 收 入 官 吏 京 都 府 書 記 官 氏 名 所 屬 分 任 收 入 官 吏 官 氏 名 扱

一金何程

但何々(收入ノ目的ヲ記載ス)



(書

右何年何月何日限リ何々金庫へ納付スヘシ

明治何年何月何日

「納入告知書發行者官氏名」  
①



第何號某年度何郡市何町村何某納

京 都 府

主任收入官吏京都府書記官氏名所屬  
分任收入官吏官氏名扱

一金何程



但何々

證 收 領)

(書

右領收候也

明治何年何月何日

何地金庫 ①



第何號某年度何郡市何町村何某納

經常(臨時)何々(款)何々(項)何々(目) 大藏省主管  
京都府

一金何程

右領收濟ニ付通知候也

通)



(書)

明治何年何月何日

何地金庫印

主任收入官東京都府書記官 氏 名殿

(第二號式)

領收證書用紙ノ納入金額年度種類等ハ總テ納入告知書發行廳ニ於テ記入スルモノトス

乙號

用紙適宜寸法甲號書式ニ同シ

入 納)

元帳  
割印

第 何 號	某 年 度	何 郡 市 何 町 村 何 某 納
經 常 ( 臨 時 )	何 々 ( 款 )	何 々 ( 項 )
	何 々 ( 目 )	大藏省主管 京 都 府

一金何程

(書 知 告)

但何々(收入ノ目的ヲ記載ス)

右何年何月何日限リ分任收入官吏官氏名へ納付スヘシ

明治何年何月何日

納入告知書發行者官氏名印

收入官  
吏ノ印

收 領)

第 何 號 某 年 度 何 郡 市 何 町 村 何 某 納

一金何程

收入官  
吏ノ印

但何々



右領收候也

(書 證)

明治何年何月何日

主任收入官吏京都府書記官氏名所屬

分任收入官吏氏名印

(第三號式)

備考 用紙半紙野紙ヲ用ヒ目毎ニ別紙ヲ以テ調製スヘシ

大藏省主管何年度經常(臨時)歳入何月分調定濟額報告書  
一金若干 (目)

内

甲第何號(納入告知書ノ番號ヲ記載ス) 金若干 納入 氏 名  
但(諸收入調定元帳但書ノ事由ヲ其儘移記スヘシ)

乙第何號(同上) 金若干 納入 氏 名  
但(同上)

現金即納金若干 納入 氏 名  
但(同上)  
納第何號(納付書ノ番號ヲ記載ス) 金若干 納入 氏 名  
但(同上)

計金若干

右何月中調定濟額相違無之候條此段報告候也

年 月 日

應名調定官

官 氏 名印

府知事宛



(第四號式ノ第一)

備考 用紙半紙野紙  
目毎ニ別紙ヲ以テ調製スヘシ

大藏省主管何年度經常(臨時)歳入調定減額報告書

一金若干

(目)

内譯

甲 第何號金若干

納人 氏 名

但(調定ノ年月及事由ト調定減額ノ事由トヲ記載スヘシ)

右何月中調定減額候付此段報告候也

年 月 日

何應調定官

官 氏 名印

府知事宛

(第四號式ノ第二)

備考 用紙半紙野紙  
目毎ニ別紙ヲ以テ調製スヘシ

大藏省主管何年度歳入何月分不納缺損處分濟報告書

一金若干

何々(目)

納人 氏 名

但何々金何年何月中調定甲(乙)第何號納入告知書ノ分

何々ノ事由ニ據リ何年何月何日指令(上申濟)ノ分

右何月分不納缺損處分濟ニ付此段報告候也

年 月 日

何應調定官

官 氏 名印



府知事宛

(第五號式)

備考 用紙半紙野紙  
目毎ニ別紙ヲ以テ調製スヘシ  
大藏省主管何年度歳入下戻計算書  
一金若干 何々(目)

住所

納人 氏 名

但何々金何年何月中調定甲第何號納入告知書第何號  
納付書ヲ以テ何地本(支)金庫へ(乙)第何號納入告知書又  
ハ現金ヲ以テ分任收入官吏何程納付又ハ何程納付ノ  
内何程何々ノ事由ニ據リ過(誤)納ニ屬シ候付別紙請求  
書ノ通該納入へ還付可相成分

右過(誤)納金員御拂戻有之度候也

年 月 日

何廳調定官

官 氏 名 印

府知事宛

(第六號式)

備考 用紙半紙野紙  
目毎ニ別紙ヲ以テ調製スヘシ



大藏省主管何年度經常(臨時)歳入何月分收入報告明細書  
一金若干 前月迄收入濟額  
一金若干 本月分收入濟額



内

甲第何號金若干

納人 氏

名

乙第何號金若干

納人 氏

名

現金即納金若干

納人 氏

名

一金若干

前月迄不納缺損額

一金若干

本月分不納缺損額

内

甲第何號金若干

納人 氏

名

乙第何號金若干

納人 氏

名

一金若干

納入未濟額

内

甲(乙)第何號金若干

氏名納之分

但 何々金何年何月何日納期ニシテ目下納期内ノ分  
何々金何年何月何日納期ノ處何々ノ事故ニ據テ完  
納未濟ニ屬シ目下督促(處分)中ノ分  
換刑處分濟ノ分

右ノ通相違無之候也

年 月 日

何應分任收入官吏

官 氏

名 印

主任收入官吏官氏名宛

(第七號式)

備 考 用紙半紙野紙  
目毎ニ別紙ヲ以テ調製スヘシ

大藏省主管何年度歳入金異動無之報告





何年度經常(臨時)歲入何月分異動無之單ニ前月迄ノ調定及  
收入濟額ノミニ有之候條此段報告候也

年 月 日

何應分任收入官吏

官 氏 名 印

主任收入官吏官氏名宛

甲第三十七號<sup>十二月廿七日</sup>郡町村市區

明治廿二年三月大藏省令第三號國稅徵收法施行細則様式  
第四號納付書へ記入スへキ收入官吏氏名ハ明治廿七年一  
月以降主任收入官吏官氏名所屬分任收入官吏官氏名扱ト  
記載スへシ

但主任收入官吏及分任收入官吏官氏名ハ所轄收稅署ニ

リ通知セシム

右相達ス

甲第三十八號<sup>十二月廿八日</sup>郡町村市區

免租セラルヘキ市町村公立學校敷地ハ從來其學校所有地  
トシテ取扱來候處市町村制并地方學事通則實施後ハ市町  
村ノ公立學校ハ獨立シテ財產ヲ所有シ得サルヘキニ付從  
來土地臺帳ニ所有主何々學校ト記載セルモノハ改氏名訂  
正ノ取扱ニ準シ總テ何々市町村又ハ何町村學校組合持ト  
更正シ明治廿七年一月三十一日迄ニ一筆限所轄收稅署へ  
報告スへシ

但一市町村ヲ數區ニ分テ各區ニ設置セル公立學校ニシ  
テ其敷地該區ノ所有ニ係ルモノハ其所有トシ更正スへ



右相達ス

告示第二號 七月 日 零

告示第四號 十一月 日

明治二十一年告示第七十號本府醫學校規則中左ノ通改正ス

第一條 本校第一年級ニ入ルヲ得ルモノハ年齡滿十七年以上二十五年以下品行端正ニシテ入學試驗合格ノモノ若シハ府縣立尋常中學校卒業證書ヲ受領シタルモノトス

第二條 二年級以上ノ級ニ入ラント欲スルモノハ第一條ノ年齡ニシテ本校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル官立府縣立醫學校ニ於テ修學シタルモノニ限リ相當學級ニ編入スルコトアルヘク其他ハ學歷證議ノ上第一年級



諸學科ヨリ其入ラント欲スル前級マテノ諸學科ノ試験  
ヲ受ケシメ入學ノ許否ヲ定ムコトアルヘシ

但本文後段ノ試験ヲ受クルモノト定リタルモノハ受  
験料金三圓納付スヘシ最モ納付ノ上ハ何等ノ事故ア  
ルモ其受験料ヲ返付セス

第五條

總テ退學ヲ命シタルモノハ再入學ヲ許サス

但依願退學セシモノニシテ原級以下ニ入學ヲ請フモ  
ノハ許可スルコトアルヘシ

第九條及第十一條中但書ヲ削除ス

第十五條ニ左ノ但書ヲ加フ

但納期ヲ怠リタルトキハ保証人ニ代納ヲ命シ尙納付  
セサルモノハ本章第十二條第二項ニ準シ處分セラレ

ヘシ

右告示ス

告示第十一號 六月二日

南桑田郡大井村千代川村ニ關スル字神田堰事業ノ爲メ千  
代川村字小林小字神田、小字向島、小字上島ノ内大井村字土  
田小字大島ノ内并ニ字並河小字經田、小字中島、小字神田ノ  
内小字上溝ノ内小字北條ノ内及ヒ小字鍛冶屋川ノ内ヲ以  
テ區域トシ普通水利組合ヲ設ク  
但大井村長ヲ以テ組合管理者ト定ム

右告示ス

告示第十八號 三月

明治二十五年告示第十八號本府尋常師範學校生徒學資支



給方法中左ノ通改正シ來ル四月一日ヨリ施行ス

第三條中 九種トアルヲ七種ト改メ冬シヤツ夏シヤツ

袴下ノ二項ヲ刪除シ四種トアルヲ二種ト改ム

第四條中 四種トアルヲ五種ト改メ薪炭油ノ前ニ一筆

紙墨料 但一ヶ月一名ニ付金拾五錢ツ、支給スルノ一項

ヲ加フ

右告示ス

告示第十九號 三月二日

大阪鑛山監督署三月一日ヨリ大阪市東區高麗橋詰町廿六

番地ノ五十番屋敷へ移轉ノ旨通報アリ

右告示ス

告示第三十號 三月二日

從來本府ニ於テ管理スル京都府尋常中學校ハ自今大谷尋  
常中學校ト改稱ス

右告示ス

告示第三十七號 三月八日

南桑田郡千代川村大井村ニ關スル寅天井堰事業ノ爲メ千  
代川村大字川關ノ内(小字森ヶ下)小字中土井小字東又小字  
中又小字西又小字中村里小字カミ小字トビノス小字奥ノ  
谷小字宮ノ前關係)大字千原ノ内(小字濱ノ前)小字東濱ノ前  
小字安田小字宮ノ本小字樋ヶ辻小字片ホコ小字千原ヶ前  
小字學堂小字大門小字東齊關係)大字小川ノ内(小字宮ノ本  
小字八丁前小字溝草小字石梓小字西ノ坪關係)大字高野林  
ノ内(小字高野畑小字西ノ畑小字西ノ田小字北ノ田小字腰



前小字東田小字南端小字壹本木關係大字小林ノ内(小字下  
戸小字前田小字植田小字北ノ田小字美都路小字西芝小字  
上島關係)大字土田ノ内(小字東島小字西島小字南島小字北  
島小字大島關係)大字小金岐ノ内(小字東島小字大門小字馬  
場崎關係)ヲ以テ區域トシ普通水利組合ヲ設ク  
但千代川村長ヲ以テ管理者ト定ム  
右告示ス

告示第四十八號

四月十九日

明治二十二年四月告示第三十號但書中官ニ買上ノ下ニ(當  
チ經由セス地主ト直接  
契約ニ係ルモノハ除ク)割註ヲ挿入ス  
右告示ス

(參照)

廿二年告示第三十號

土地ヲ分割又ハ合併シテ變買讓與セントスル者出願ノ件

告示第五十號

四月廿二日

大阪大林區署龜岡、福知山宮津ノ三派出所ヲ廢シ左ノ通四  
月二十日ヨリ改稱變更候旨同署ヨリ通知アリタリ  
一 龜岡派出所ヲ廢シ其管轄區域ヲ京都小林區署區域内ニ  
編入ス  
一 福知山、宮津ノ二派出所ヲ廢シ福知山小林區署ヲ現在福  
知山派出所位置ニ設ケ二派出所區域ヲ其管轄區域トス  
一 京都小林區署管轄區域中山城國宇治郡笠取村大字笠取  
字岩間山官林ヲ在近江國滋賀郡大津町滋賀小林區署區  
域内ニ編入ス



右告示ス

告示第五十五號

五月十五日

南桑田郡千代川村大井村ニ關スル寅天井堰事業ノ爲メ設置スル普通水利組合區域中千代川村大字千原ノ内小字千原ヶ前ノ次へ小字清草ヲ挿入ス

右告示ス

告示第五十八號

五月十三日

本府尋常師範學校附屬幼稚園規則別紙之通相定ム  
右告示ス

尋常師範學校附屬幼稚園規則

第一條 附屬幼稚園ハ幼兒ヲ保育シ本校生徒ニ保育ノ方法ヲ練習セシメ兼テ府下幼稚園ニ其模範ヲ示ス所トス

第二條 保育ノ科目ハ會集、遊戯、唱歌、談話、手業、栽培、養畜トス

第三條 保育ノ要旨左ノ如シ  
會集ハ全園ノ幼兒ヲ一室ニ集メ遊戯、唱歌、談話ニヨリテ協同一致博愛ノ情心ヲ陶冶セシム事ヲ要ス  
遊戯ハ諸般ノ運動ニヨリテ身體ノ健康心意ノ發達ヲ補成セシム事ヲ要ス  
唱歌ハ平易雅馴ナル歌曲ニヨリテ聽官聲器ヲ練習シ兼テ幼兒ノ心情ヲ快活優美ナラシメン事ヲ要ス  
談話ハ平易ノ事實寓言作法ニヨリテ幼兒ノ徳性ヲ涵養シ行義ヲ規正シ又ハ實物標本圖畫等ヲ以テ日常必須ノ人工物簡易身近ノ天然物ニツキ觀察注意ノ力ヲ



養ヒ併セテ言語ノ用法ニ習熟セシメン事ヲ要ス  
 手業ハ恩物ニヨリテ構造審美ノ意匠ヲ養ヒ大小形体  
 ノ觀念ヲ與ヘ兼テ手ト目トノ運用ヲ自在ナラシメン  
 事ヲ要ス  
 栽培及ヒ養畜ハ種々ノ植物動物ヲ栽培養畜シテ娛樂  
 ノ間ニ勞動ノ習慣ヲ得セシメ且生物界ニ於ケル簡易  
 ノ事實ヲ知リ天然物ヲ愛スルノ心情ヲ養成セン事ヲ  
 要ス

第四條 保育科程及ヒ每週時間左ノ如シ

但夏季休業ノ前後各一ヶ月間每週時間ヲ十二時マテ  
 減スル事アルヘシ

附屬幼稚園科程表

科目	三ノ組		二ノ組		一ノ組	
	時間	科程	時間	科程	時間	科程
會集	三	遊戯唱歌談話	三	同上	三	同上
遊戯	九	共同遊戯、自由遊戯	九	同上	九	同上
唱歌	三	平易雅馴ノ歌曲	三	同上	三	同上
談話	二	修身、庶物	二	同上	二	同上
手業	五	積木、板排、箸排、 鑿方、剪紙、織紙	五	積木、板排、箸排、 鑿方、摺紙、豆細工	五	積木、板排、箸排、 摺紙、織紙、組紙、 豆細工、粘土
栽培	一	各種植物ノ栽培	一	同上	一	同上
養畜	一	各種動物ノ養畜	一	同上	一	同上
合計	二三		二三		二三	



第五條 休業日左ノ如シ

日 曜 日

大 祭 祝 日

夏 期 休 業 八月一日ヨリ  
全月卅一日マテ

冬 期 休 業 十二月廿五日ヨリ  
一月十日マテ

第六條 幼兒ノ年齢ハ大約滿三年以上滿六年以下トス

第七條 幼兒ノ定員ヲ百二十名トス

第八條 入園ヲ願フモノハ左ノ書式ニ準シ願書ヲ差出シ

且ツ本園職員ノ尋問ヲ受クルトキハ其兒童從來ノ發育  
及發育ノ狀況等ヲ陳述スヘシ

入 園 願 (用紙野引半紙)

族 籍

右之者今般御校附屬幼稚園ニ入園致サセ度此段相願候  
也

姓 名

生 年 月

族 籍

年 月 日

保 護 者 何

某 印

京都府尋常師範學校長某殿

第九條 退園ヲ願フモノハ左ノ書式ニ準シ願書ヲ差出ス  
ヘシ

退 園 願 (用紙野引半紙)

姓 名

百四十五



右之者何々ノ事項ニヨリ退園致サセ度此段相願候也

年月日

保護者 何 某印

京都府尋常師範學校長某殿

第十條 保育料ハ一ヶ月金貳拾五錢トス

但一家二人已上入園シタル時ハ一人ノ外ハ半額ヲ納ムルモノトス

第十一條 保育料ハ出席ノ有無ニ拘ハラヌ毎月全額ヲ納ムヘシ

但一ヶ月間全ク出席セサルトキハ此限ニアラス

第十二條 幼兒又ハ保護者ノ身上及ヒ住所ニ移動ヲ生シタル時ハ其都度届出ヘシ

第十三條 幼兒欠席一週以上ニ渉ル時ハ其理由ヲ具シテ届出ヘシ

第十四條 幼兒傳染病ニ罹ル時又ハ一家中ニ傳染病者アルトキハ直チニ届出ヘシ

第十五條 前條ノ場合及ヒ幼兒厭汚スヘキ疾病ニ罹ルトキハ其事故ノ存スル間出園ヲ停止スルモノトス

第十六條 欠席三ヶ月以上ニ及ヒ其事故分明ナラサルモノハ退園ヲ命ス

第十七條 大祭祀日ノ儀式次第ハ附屬小學校ニ準ス

第十八條 當園ニ於テ六ヶ月以上保育シタルモノハ左ノ證書ヲ與フ

保育證書



族籍

姓

名

生年月

學 校  
之 印

右者何年何月ヨリ何年何月マテ何年何ヶ月間附屬幼稚園ニ於テ保育セリ仍テ茲ニ之ヲ証ス

年月日

京都府尋常師範學校長位勳爵

姓

名 園

番號

告示第六十六號

三六

日月

明治廿二年十月告示第百七號廢止候條自今右戶籍ニ關スル事件ハ區役所ヲ經由差出スヘシ

右京都市へ告示ス

告示第六十八號

六六

日月

明治十九年閣令第十六號北海道土地拂下規則施行手續今般改定相成候處從前土地貸下出願中未タ實地ノ調査ヲ受ケサルモノハ同道告示第二十一號ニ依リ本年七月卅一日限リ地圖及ヒ戶籍寫ヲ要スル義ニ付當府人民ニシテ從前土地貸下出願中ノモノ又ハ今後同道ニ移住起業ノ目的ヲ有スルモノ等ハ右改定手續并ニ告示等所轄郡區役所及町村役場ニ就テ見ルヘシ

右告示ス

告示第三十八號

三九

日月

官林ヲ學校敷地ニ無代價下渡ノ義ハ自今所轄小林區署若



百五十  
シクハ同署派出所ヲ經由シ大阪大林區署長ニ願書差出ス  
ヘシ

告示第八十六號 一七 日 署

告示第九十號 一七 日 月

明治廿四年月一告示第三號ノ末項ヘ左ノ二項ヲ追加ス  
一 酒精營業場付屬倉庫建物使用許可願  
一 醫藥用酒精營業稅免除認許願  
右告示ス

(參照)

廿四年告示第三號

願上申ニ對スル指令知事捺印セサルモノ、件

告示第九十六號 十七 日 月

愛宕郡八瀬村字宮ノ谷<sub>民有地第一種畑二畝二十步宅地ヲ字御</sub>  
所谷ト改稱ノ儀該村ノ出願ニヨリ許可セリ

右告示ス

告示第九十八號 十七 日 月

明治廿三年月十二當府告示第百九號管内印紙類元賣捌所代  
理店ノ内左ノ通變更ス

間稅署福知山分署所轄内

天田郡福知山町字吳服第

九拾番戶

吉田三右衛門

右天田郡中へ告示ス

告示第百十一號 廿八 日 月



山梨縣ニ於テ今般別紙之通蠶種取締規則ヲ定メラシメテ  
右告示ス

蠶種取締規則

第一條 蠶種ノ製造ヲ業トスルモノ又ハ蠶種ヲ賣買讓與  
讓受セントスルモノハ總テ此規則ニ遵フヘシ  
他管下ノモノニシテ本管内ニ於テ前項ノ事ニ從ハント  
スルモノ亦全シ

第二條 蠶種ハ總テ縣廳ノ検査ヲ受クヘシ其原種用検査  
証印及製糸用種検査証印アルモノニアラサルハ賣買又  
ハ讓與讓受ヲナスコトヲ得ス但夏秋蠶種ニシテ越年セ  
シメサルモノハ此限リニアラス

第三條 蠶種ノ製造ハ框製普通製ノ二種トシ原種ハ總テ

框製ニ限ル

蠶種原紙ノ表面ニ春夏秋ノ種別及小石丸又昔等ノ種類  
ヲ記入シ裏面ニ製造人ノ住所氏名又ハ會社等ノ名稱ヲ  
記入シタル印章ヲ押捺スヘシ

第四條 蠶種ヲ製造スルモノハ原繭ノ検査ヲ受クヘシ但  
夏秋蠶種ハ此限ニアラス

第五條 框製ノ親蛾并ニ普通製種及原繭ノ検査ハ左ノ規  
定ニ據ル但シ框製ニシテ親蛾ヲ添付セサルモノハ普通  
製ノ例ニ依リテ検査ス

一親蛾無毒ノモノニシテ原種用種ハ原種用ノ証印ヲ製  
糸用種ハ無毒ノ証印ヲ病毒アルモノニハ廢棄ノ証印  
ヲ其框内ニ押捺シ蠶卵紙ノ裏面ニ検査証印ヲ押捺ス



一 普通製種ハ有毒百分ノ五已下ノモノニ製糸用種検査  
証印ヲ其己上ノモノニ廢棄ノ証印ヲ押捺ス

一 原繭ハ玉繭屑繭ヲ除キ形狀整齊ノモノヲ合格トス

第六條 第三條第二項及第四條ノ規定ニ依ラスシテ製造  
シタル蠶種ハ検査ヲ與ヘス

第七條 原種用ノ親蛾検査ハ毎年十月一日ヨリ製糸用種  
ノ検査ハ九月一日ヨリ施行シ原繭ノ検査ハ蠶種ノ製造  
ニ先テ施行ス

第八條 蠶種ヲ製造スルモノハ春蠶原種ノ掃立蛾數并ニ  
製造見込額及發蛾期日ヲ豫定シ其年五月三十一日迄ニ  
縣廳ニ夏秋蠶種原種ノ掃立蛾數及製造額ハ受檢ノ際檢  
査所ニ届出ヘシ

第九條 検査所ハ縣廳内及管内樞要ノ場所ニ之レヲ設ケ  
原繭ハ其製造所ニ就キ之レヲ検査ス

第十條 本則第二條及第八條ニ違フモノハ貳圓已上拾圓  
已下ノ罰金ニ處ス

第十一條 蠶種検査証印ヲ定ムル左ノ如シ

原種用検査証印

圓形 徑五分 文字(山梨縣某検査所原種検査之証)

製糸用種検査証印

精圓形 徑一寸八分 文字(山梨縣某検査所製糸用種検査之証)

廢棄証印

長方形 縱一寸 横五分 文字(廢棄之証)



複製証印

百五十六

原種用証 圓形徑三分朱字(原種用証)

無毒証 圓形徑三分朱字(無毒証)

廢棄証 長方形長三分  
中三分黑文字(廢棄証)

告示第二百二十六號 十九日

園部區裁判所管内受持公證人ノ義來ル九月廿五日ヨリ左ノ箇所ニ於テ公證事務取扱候旨其筋ヨリ通知アリタリ

船井郡園部町字本町

第廿六番戶

公證人 荻野道積

右園部區裁判所管内町村へ告示ス

告示第二百三十六號 九月三十日

明治廿五年<sup>五月</sup>本府告示第七十四號陸軍召集旅費支出區域表中愛宕郡花香村役場ヲ廢シ同區域内ノ各村ヲ愛宕郡役所區域内ニ合ス

告示第二百四十七號 十月十三日

大谷尋常中學校ハ當分京都市下京區烏丸通り七條上ル常葉町一番戶ニ移リ假ニ其教授ヲ始ム

右告示ス

告示第二百五十一號 十月十九日

與謝郡現住者及寄留者ニシテ至急宮津港ヨリ露領浦潮斯德及朝鮮國へ渡航スル者ニ限リ與謝郡役所へ府知事宛旅券下付願書差出スヘシ  
右與謝全郡へ告示ス

百五十七



告示第七十二號 十一月

百五十八

他府縣ニ於ケル左記之事項ハ官報附録公報中ニ登載有之  
ニ付其都度別ニ本府ヨリ告示ヲ爲サス該官報ニ依リ周知  
スヘシ

右告示ス

- 一 諸鑑札免狀營業証等之紛失盜難燒失及其發見之件
- 一 賞與者其他居所不分明之件
- 一 難破船之件
- 一 漂流物及漂着物之件
- 一 巡查看守押丁手帖遺失之件
- 一 諸官廳之印及官印記章アル官給品遺失盜難之件
- 一 土地臺帳更製之件

- 一 燈臺建築港灣修築費消却金ヲ入津船ニ課スル件
- 一 溺死者屍體搜索之件
- 一 郡役所市役所町村役場水火災ニテ文書燒失又ハ流亡之件
- 一 市町村之廢置分合及境界名稱并ニ役所役場位置變更之件

告示第七十八號 十一月

廿五日

明治廿三年法律第七十七號ノ手續ヲ履行シ府下相樂郡木  
津村ヲ木津町ト改稱ス  
右告示ス

告示第八十四號 十二月

六日

府下葛野郡朱雀野村嵯峨村花園村ニ於テ土地買得者讓受

百五十九



者ニ賦課スル村税及ヒ同郡下嵯峨村ニ於テ土地買得者讓受者新築家屋ニ賦課スル村税ハ總テ直接税トス

右公示ス

公示第百八十五號

十二月六日

京都小林區署本月四日ヨリ京都市下京區古門前大和大路東へ入知恩院山内へ移轉相成候旨通知アリタリ

右公示ス

公示第百八十九號

十二月十二日

當廳及所屬官衙ノ執務時間左ノ通改定ス

從十月十日午前八時三十分ヨリ午後四時三十分迄

右公示ス

公示第百九十一號

十二月十五日

來ル明治廿七年三月三十一日限り伏見監獄支署ヲ廢止シ刑事被告人并ニ輕禁錮十日以下及ヒ拘留刑ノモノハ該地警察署ニ於テ拘禁シ其他ノ受刑者ハ當府監獄署ニ於テ執行ス

右公示ス



正誤	七	丁	七行目	合スルノ次マテノ二字ヲ脱ス
上卷	廿五	丁	正誤文ハ總テ愆	
	廿七	丁	三行目	抵者ハ拙者ノ誤
	五十二	丁	四行目	改組ハ改租ノ誤
	百六	丁	末行	月日ノ下ノハチノ誤
	百一十一	丁	鑑札雛形	豎三寸ハ三尺ノ誤
	百八十八	丁	八行目	犢羊ハ犢牛ノ誤
下卷	二百十八	丁	三行目	十二日十六月ハ十二月十六日ノ誤
全	十	丁	申報書初行下段頃ハ項ノ誤	
	八十	丁	全二項目第九項ヨリ下段ニ移リ蒸氣船ノ項ヨリ更ニ	
	九十五	丁	上段ニ移ル即第九欄迄ヲ表半面トシ其以下ヲ裏半面	
	百十九	丁	トス	
	百二十八	丁	第二表最下段 一人當ハ一戸當ノ誤	
			「六號書式甲」ノ上ニ第ノ一字ヲ脱ス	
			通知書書式上部 通ノ次ニ知ノ字ヲ脱ス	
			九行目 納入ハ收入ノ誤	

明治廿七年六月十一日印刷  
 明治廿七年六月十六日發行

# 京 都 府

發行 者 中西嘉助  
 京都府京都市上京區下立賣通小川東入  
 西大路町第十番戶  
 印刷 者 松香堂 中西嘉助



